## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	道営砂川袋地	!地区水利施影	设等保全高度化	事業	事業期間	令和え	元年度 ~ ←	分和9年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-1	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
	袋地地区の玉ねる 産量の拡大及び品			よる干ばつ対策	として、潅水設備を	を整備すること	により玉ねぎの生	手段 (どのような方法で 実現するのか)	北海道営事業に	より、袋地沼から	の取水施設の整備	情、用水路の整備及	なび散水機の導入	を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	玉ねぎを生産する	る袋地農家						成果 (どのような効果が 得られるのか)	干ばつ被害を防」	止することにより	、玉ねぎの生産拡	大及び品質向上か	「図られ農家の所	得向上に寄与する。
事業開始時の状況 緯								的で灌漑施設の整備 b維持管理を目的にi			令和2年に道営事	業として採択され、	、令和3年度から	事業開始された。施設の整備につい

## [DO]

実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	一画		第 7 期
	第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額	3, 700, 000	22, 200, 000	18, 500, 000	44, 400, 000	18, 700, 000	19, 800, 000	20, 300, 000	58, 800, 000	14, 600, 000				14, 600, 000	117, 800, 000
投 予算計上額	3, 700, 000	7, 400, 000	5, 500, 000	16, 600, 000	18, 700, 000			18, 700, 000					0	35, 300, 000
実績額	2, 888, 600	6, 090, 700	5, 200, 000	14, 179, 300				0					0	14, 179, 300
入 そ の 他 計 画 額	925, 000	5, 550, 000	4, 628, 000	11, 103, 000	4, 675, 000	4, 950, 000	5, 087, 000	14, 712, 000	3, 650, 000				3, 650, 000	29, 465, 000
予算計上額	925, 000	1, 850, 000	1, 375, 000	4, 150, 000	4, 675, 000			4, 675, 000					0	8, 825, 000
実績額	722, 150	1, 522, 675	1, 537, 934	3, 782, 759				0					0	3, 782, 759
れ 一般財源 計画額			10, 000	10, 000				0					0	10, 000
予算計上額				0				0					0	0
実績額			82, 741	82, 741				0					0	82, 741
事業費合計 計 画 額	4, 625, 000	27, 750, 000	23, 138, 000	55, 513, 000	23, 375, 000	24, 750, 000	25, 387, 000	73, 512, 000	18, 250, 000	0	0	0	18, 250, 000	147, 275, 000
予算計上額	4, 625, 000	9, 250, 000	6, 875, 000	20, 750, 000	23, 375, 000	0	0	23, 375, 000	0	0	0	0	0	44, 125, 000
実 績 額	3, 610, 750	7, 613, 375	6, 820, 675	18, 044, 800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18, 044, 800
費	負担金 4,625千円	負担金 9,250千円	負担金 6,875千円		負担金 23,375千円									
事業費予算の														
の内容														
144														
推	主典書の以	主機準の以	主要されて		主要準の以									
移	事業費の増	事業費の増	事業費の減		事業費の増									
前年度予算との比較														
(増減理由)														
(1,3,1,2,1)														
	事業費の減	事業費の減	事業費の減										l I	
実績との比較														
						]								
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						]								
					I									

7	種の	雅移	・評価															
7	5動指	漂 1	(「手段」を	をもとに設定)	指標名:事業進持	步率		指標の求め方:韓	执行済事業費/総	事業費×100								
J.	<b></b> 大果指	摽 1	(「成果」を	をもとに設定)	指標名:用水路藝	<b>整備率</b>		指標の求め方:	整備済延長/計画	延長×100								
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			Э	第3次実施4カ年記	計画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			舌動指標 1 (単位/%		5	32			14	4 2	18		3					
	1		(単位/%)	人根框	4	13			1	7 79	97		100					
		)-	《采拍标》 (単位/%		0	0	0			,	37		100			-		
			事業の達成 活動指標	或度 【をもとに評価)				あまり達成されていない										
			事業の成界 成果指標	果 『をもとに評価)				あまり上がってい ない										
			事業の効率 事業費に	率性 :対する成果)				あまり上がってい ない										
		ŕ	総合評価					普通である										
	務日	評価为容	理の	総合評価の判断標 と の実績値に関す の実も の も も も も も も も も も も も も も も も も も	計画どおり事業を開始したを立り場が組工を開始となった。 場が組工を主がある。 というでは、 はいるでは、 といるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 といるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 はいるでは、 といるでは、 といるでは、 はいるでは、 はいるでは、 といるでも、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと	設計及び地元交 渉に向けて概略 設計を行った。 設計段階のた め、用水路整備	量を行った。設 計段階のため、	り、当初予定通 り進んでいるた	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		4	今後の方向	 句性				現状のまま継続										
	F		2	_	R5 :		/ - /		R8 :				R10 :					
	改	善、	の判断理 改革の内: R8、R10)	容		済みの事業であり	丿、現在工事に向(	けて準備が進んで										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	水利施設管理	強化事業			事業期間		平成12年度	~						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画の位置付け	4-1-1	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
			ため、北海道と市 北海かんがい溝)		- 良区等が実施する管 こ資する。	<b>歪理体制の整備</b>	<b>計と農家負担の軽</b> 減	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域の実情に応 推進協議会を通	じた管理水準、適 じた合意形成や関	正な管理体制や費 係団体との協議・	を用分担等の目標及 調整のほか、農家	なびその実現に向り なや地域住民への <sup>3</sup>	けた具体的な整備計画の策定と、 啓蒙普及活動を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の農業者、均	也域住民						成果 (どのような効果が 得られるのか)	農業水利施設の	適正な管理と水資	源のかん養や洪水	(防止などの多面的	<b>りな機能が発揮さ</b> っ	れる。
事業開始時の状況緯		地改良区の管理の国営造成施設の	本制が脆弱化しつで 管理適正を図るため	つある。 り、国の実施要維	₹区が管理している 岡・要領に基づき平 E長となった。さら	成12年度から	16年度までの5ヵ	<b>手実施したが、さら</b>	なる事業効果を					社会経済情勢の変化により、北海土る。

## [DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	5, 637, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	5, 637, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	1, 879, 000	7, 516, 000	18, 790, 000
			予算計上額	1, 879, 000	1, 879, 000		5, 637, 000	1, 873, 500			1, 873, 500					0	7, 510, 500
			実績額	1, 879, 500	1, 879, 500	1, 873, 500	5, 632, 500				0					0	5, 632, 500
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他					0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般	財源		627, 000			, ,	627, 000	627, 000	627, 000		627, 000	627, 000	627, 000	627, 000	2, 508, 000	6, 270, 000
+.			予算計上額	627, 000	627, 000		1, 881, 000	624, 500			624, 500					0	2, 505, 500
た			実績額	626, 500	626, 500	624, 500	1, 877, 500				0					0	1, 877, 500
事	事業	費合計		2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	7, 518, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	7, 518, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	10, 024, 000	25, 060, 000
			予算計上額	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 506, 000	7, 518, 000	2, 498, 000	0	0	2, 498, 000	0	0	0	0	0	10, 016, 000
業			実 績 額	2, 506, 000	2, 506, 000	2, 498, 000	7, 510, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7, 510, 000
費				補助金 2,498千円 負担金 8千円	補助金 2,498千円 負担金 8千円	補助金 2,498千円 負担金 8千円		補助金 2,498千円									
	事業者	き予算の				7.22											
の		容															
推																	
TE.				前年度同額	前年度同額	前年度同額		負担金の減	-				-				
移	÷	ケマ 佐 し		刑斗及问锁	刑千及问锁	刑斗及问领		<b>貝担並の</b> 減									
		医予算と 比較															
		(理由)															
				予算同額	予算同額	事業費の減											
	実績と	≥の比較															
		域理由)															

推	標の推	移・評価															
活	動指標	1 (「手段」をもと	に設定)	指標名:推進協調					画検討に係る推進	協議会等開催数							
成	果指標	1 (「成果」をもと	に設定)	指標名:整備計瓦	画に対する実行率		指標の求め方:	実行/整備計画									
						13 力年計画				3カ年計画				3次実施4カ年計			第 7 期
				第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	3		3		3	3	3		3	3	3	3		
	指標	(単位/回)	実績値	3	,	3		100	100	400		100	100	400	100		
	标	成果指標 1 (単位/%)	計画値実績値	100				100	100	100		100	100	100	100		
		事業の達成度		100		100	ほぼ達成されている										
		(活動指標をも事業の成果	とに評価)														
		(成果指標をも	とに評価)				変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				変わらない										
		総合評価	0,,,,,,				良好である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				農業者の負担軽 減がされている	農業者の負担軽 減がされている	農業者の負担軽 減がされている	土地改良区により農業水利施設										
				ことや施設の適 正管理がなされ	減がされている ことや施設の適 正管理がなされることにより、	ことや施設の適正管理がなされ	(北海幹線用水 路)が管理され										
				ることにより、	ることにより、	ることにより、	ており、推進活										
				る災害防止を含	集中豪雨等によ る災害防止を含	る災害防止を含	係る協議会もほ										
3					む農業・農村の 多面的機能が発												
	評価			揮されており事	揮されており事	揮されており事	計画も計画どお										
Ž	务内			業効果が認められる。	業効果が認めら れる。	業効果が認められる。	り実行されてい ることから、良										
	容	総合評	価の判断		1000	1000	好と判断した。										
4	<b>F</b>	の実績	たは指標 値に関す														
		る自己	分析														
1																	
=	Ŧ.																
-																	
1	<b>5</b>																
		今後の方向性					現状のまま継続										
				R5 :  農業水利施設 (;	北海幹線用水路)	は水資源のかん養	や洪水防止など	R8 :				R10 :					
				の多面的な機能	を有し、適正な管 ていることからも	理が必要である。	当該事業により										
				今後は、集落機能	能の低下や農業従	事者の高齢化が進	むと考えられる										
				ことから、農家 <sup>2</sup> がある。	や地域住民へ更な	る啓蒙普及活動を	行っていく必要										
		性の判断理由 、改革の内容		かめる。													
	表																
	改善 (RS	R8 R10)															
	改善 (RS	, R8, R10)															
	改善 (RS	R8、R10)															

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	東豊沼地区農	地耕作条件改	<b>文善事業</b>		事業期間	令和力	元年度 ~ 令	和3年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-1	他に関連する 基本事業	2-6-3					所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	近年の異常気象に	に伴う集中豪雨に	よる豊沼地区の浸	水被害を防止す	るため。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	既存排水路の排	水ルート変更及び	排水路断面等を変	₹更し、雨水等をス	スムーズに河川へ	排水する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	東豊沼の農業者							得られるのか)		及び農業被害の低				
事業開始時の状況緯	・これまでの経				流量が既存排水路の 業を実現するほか、				たらしている。	そのため、補助事	業である農地耕作	条件改善事業を活	5用し、農業用排力	水路のルート変更をするとともに、

## [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費言	十 画 額				0				0					0	0
		7	<b>予算計上額</b>				0				0					0	0
		3	星 績 額				0				0					0	0
	道	費言	十 画 額	22, 770, 000			22, 770, 000				0					0	22, 770, 000
		Ŧ	<b>予算計上額</b>	22, 770, 000			22, 770, 000				0					0	22, 770, 000
			€ 績 額	22, 018, 159			22, 018, 159				0					0	22, 018, 159
	地方		十 画 額	10, 200, 000			10, 200, 000				0					0	10, 200, 000
投			<b>予算計上額</b>	10, 200, 000			10, 200, 000				0					0	10, 200, 000
			美 績 額	9, 892, 218			9, 892, 218				0					0	9, 892, 218
入	その作		+ 画額				0				0					0	0
<b>₹</b>			<b>予算計上額</b>				0				0					0	0
			€ 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源		+ 画額	30, 000			30, 000				0					0	30, 000
+-			<b>予算計上額</b>	68, 000			68, 000				0					0	68, 000
た			美 績 額	38, 700			38, 700				0					0	38, 700
事	事業費合言		+ 画額	33, 000, 000	0	0	33, 000, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33, 000, 000
			<b>予算計上額</b>	33, 038, 000	0	0	33, 038, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33, 038, 000
業		9	美 績 額	31, 949, 077	0	0	31, 949, 077	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31, 949, 077
費の推	事業費予算0 内容	מ		委託料 1,000千円 工事費 31,000千円 負担金 38千円 保証金 1,000千円													
移	前年度予算と の比較 (増減理由)			事業費の減													
	実績との比較 (増減理由)	較		事業費の増													

移・割	平価														
1 ( [	手段」をもとに設定)	指標名:事業進扬	歩率		指標の求め方:執	执行済事業費/総事	事業費×100								
1 (「)	成果」をもとに設定)	指標名:事業整備	<b>帯率</b>		指標の求め方:螯	<b>&amp;備済延長/計画</b>	延長×100								
				3 力年計画				3 カ年計画				3次実施4力年記			第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
(単	指標 1計画値位/%)実績値	29 28													
	指標 1 計画値	100													
_	植位/%) 実績値 の達成度	100													
(活動	動指標をもとに評価)				達成されている										
(成	果指標をもとに評価)				変わらない										
	業費に対する成果)				変わらない										
総合	計評価				普通である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	農ルるれ面り農ほの減業したにの、大水・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	自己分析:	自己分析:	判当達 地田 で で で で で で で で で で で で で	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
今後	 との方向性				完了										
1.~		R5 :				R8 :			<u> </u>	R10 :				1	
5、改革	判断理由 革の内容	R3事業完了済み													
髻、改.	ī	判断理由 革の内容 、R10)	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容	革の内容

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農業農村整備	事業			事業期間	平成	25年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	4-1-1	他に関連する 基本事業		-				所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	水田や畑の区画扱的な生産を図ると	広大、暗渠整備や こともに、農作業	、農道の整備、農 の効率化を図る。	業用水を確保す	ー るための用排水路を	を整備すること	で、農産物の安定	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域の実情に応し 調整のほか、農家	じた適正な管理体 家や地域住民への	制や費用分担及び 啓蒙普及活動を行	バその実現に向け <i>†</i> テう。	≿具体的な整備計i	画を策定し、関係団体との協議・
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の農業者、生	生産者団体、農業	生産法人など					成果 (どのような効果が 得られるのか)	食料自給率の向」	上と農産物の安定	的な生産及び農作	f業の効率化が図 <i>ら</i>	られる。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	富平地区において	て、地域の農業者、	空知総合振興局	引、北海土地改良区	、新すながわり	農協、砂川市が連携	まを図り道営事業 <i>の</i>	計画策定を検討中	中である。				

## [DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美額 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0				0					0	0
予算計上額 宝 縛 類				0				0					0	0
大 帜 帜				0				0					0	0
事 事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
推														
移业在内景等。														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
実績との比較 (増減理由)														
(培/改生日)														

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方: ※直近の実績と今後の見通しが立たないため活動・成果指標なし。
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※直近の実績と今後の見通しが立たないため活動・成果指標なし。

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
		versel de las	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	活動指標 1 (単位/ )	実績値								-	<b></b>	-	<del> </del>			
	標	成果指標 1	計画値														
		(単位/ )	実績値														
		事業の達成度	. ! <del>-</del> = π / <del>-</del> - \														
		(活動指標をもと 事業の成果	1~6千1四)								-						
		ず来の成本 (成果指標をもと	:に評価)														
		事業の効率性	. ##/														
		(事業費に対する	0 队果)				普通である										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	当題である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				整備計画の策定 について継続検 討している段階 であり、事業未	整備計画の策定 について継続検 討している段階 であり、事業未	西豊沼地区の基 盤整備事業の実 施に向けて、地 元及び北海道や	現在、西豊沼地 区の基盤整備事 業実施に向け て、地元及び関				<b>可则在</b> .					刊刷, 圣田 .	
				評価はできな	美施のため総合 評価はできな	北海土地改良区 などの関係機関	保候関と励識を 進めている。										
事				い。	い。	と協議を行って いる。											
7	評																
務	価内																
123	容	総合評価	再の当所														
事		理由また	たは指標														
7		の実績値る自己分	値に関す														
業		0127	3 171														
<i></i>																	
評																	
価																	
														<u> </u>			
		今後の方向性					現状のまま継続										
				R5: 事業実施に向けた	- 目休的た救機型	- 画の策定について	継結論計してか	R8 :				R10 :					
				り、当該事業が多	€施されることに.	より農地集積が促	進されるととも										
				に、農作業の効率 とから継続事業と		の低減が図られる	と予想されるこ										
	方向性改善、	きの判断理由 改革の内容															
	(R5.	R8、R10)															

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	小規模基盤整	備事業			事業期間	令和 4	4年度 ~	令和12年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-1	他に関連する 基本事業	る 4-1-3					所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	農地を集積しようまた、農地の基盤 る。	うとする担い手に &整備を促進する	対し、耕地整備に ことにより、農作	係る支援を実施 業の効率化、農	- することにより、技 作物の品質向上を図	⊒い手の農地集 図り農業所得の	積を促進させる 向上が期待でき	る。 手段 (どのような方法 実現するのか)	区画拡大、暗渠 工事費の20%以	排水、農業用排水 内とし、区画拡大	路等の整備に係る は30,000円/10a.	6経費の一部を補助 、暗渠排水は40,0	り 00円/10aを上限。	とする。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	農地集積による約	圣営規模の拡大及	び基盤整備等を実	施する担い手農	業者			成果 (どのような効果 得られるのか)	担い手への農地る。	の集積を促進する	とともに、農作業	<b>ぐの効率化及び農</b> 化	■物の品質向上が	図られ、農業所得の向上に資す
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
-		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
ŧ		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源			1, 800, 000	1, 800, 000	3, 600, 000		1, 100, 000	1, 100, 000	2, 200, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	4, 400, 000	10, 200, 000
<i>t</i> =		予算計上額		0	0	0	0			0					0	0
12		実績額		0	0	0				0					0	0
事	事業費合計		0	1, 800, 000	1, 800, 000	3, 600, 000	0	1, 100, 000	1, 100, 000	2, 200, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	1, 100, 000	4, 400, 000	10, 200, 000
		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費																
	事業費予算の															
の	内容															
推																
移	***		_													
	前年度予算と の比較															
	(増減理由)															
	実績との比較 (増減理由)															
	(追)似王田)															

Ħ	標の指	移・評価	価														
污	動指標	1 (「手	段」をもとに設定)	指標名:基盤整	E備面積(ha)		指標の求め方:令	<b>令和3年度以降</b> 基	基盤整備面積累計	(ha)							
反	果指標	1 (「成	果」をもとに設定)	指標名:担い手	による農地集積率		指標の求め方:排	旦い手の農地面積	<b>∮/市内の農地面積</b>	(農地利用集積状	(況用調査より)						
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			指標 1 計画	<b>.</b>	4	8		10	12	14	1	16	18	20	22		
	指標		立/ha) 実績 指標 1 計画		79	80		81	1 82	83		84	85	86	87		
		(単位			74	<b>{</b>											
			の達成度 1指標をもとに評価	i)			達成されていない										
			の成果 指標をもとに評価	i)			変わらない										
			の効率性 養に対する成果)				変わらない										
		総合語	評価				普通である										
	事		総合評価の判理の実施値に関る自己分析	標	なかったため、 積はな家1戸面い りのとし 世が、当たりのとし 大農では 大農では 大農では 大農で 大農で 大農で 大農で 大農で 大農で 大農で 大農で	後農家1戸当た りの経営面積は	されていない が、担い手への 農地のりり んでおり 目標は達成され	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後0	の方向性				現状のまま継続										
	改	<b>旬性の判</b> ・ 改革 ・ 5、R8、I	<b>断理由</b> の内容	該事業が実施さ	事業の対象となら まれることにより農 生産コストの低減 る。	地集積が促進され	事業であり、当るとともに、農	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	認定農家支援	資金利子補給	<b>- 事業</b>		事業期間	平成1	3年度 ~ 令	和16年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	担い手の育成・研	権保と農業経営の	安定化を図るため	に実施。				手段 (どのような方法で 実現するのか)	利子補給を希望 <sup>・</sup> 成を行う。	する認定農業者か	ら農業経営改善計	画に基づいた申詞	情を受け、国・北	海道・砂川市がそれぞれ利子の助
対象 (誰・何を対象として いるのか)	農業経営改善計画	画認定を受けた市	内の農業者					成果 (どのような効果が 得られるのか)	担い手の育成・	確保と利用集積の	促進のほか、耕作	₣放棄地の解消が図	図られることから)	農業経営の安定化に結びつく。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	農業経営基盤強 平成24年度借入2	化促進法に基づき、 分からは、「人・鼎	認定農業者が 農地プラン」に位	農業経営改善計画の 対置付けられた認定	達成に必要な: 農業者に5年	長期の資金(農業 間の無利子化が適	経営基盤強化資金= 用される制度改正が	スーパーL資金) 「行われ、市町村の	に対して、利子 の金利負担が無く	を助成することに なった。	より、担い手の育	『成・確保を資金』	面で支援している。

## [DO]

実績

				第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額	152, 000	123, 000		373, 000	85, 000	71, 000	59, 000	215, 000	47, 000	35, 000	27, 000	20, 000	129, 000	717, 000
		予算計上額	152, 000	123, 000		372, 000	85, 000			85, 000					0	457, 000
		実績額	151, 633	122, 930	94, 901	369, 464				0					0	369, 464
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
₹ e		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	153, 000	124, 000		375, 000	85, 000	72, 000	59, 000		48, 000	35, 000	28, 000	21, 000	132, 000	723, 000
_		予算計上額	153, 000	124, 000		375, 000	85, 000			85, 000					0	460, 000
<i>t</i> =		実 績 額	151, 643	122, 942	94, 909	369, 494				0					0	369, 494
事	事業費合計		305, 000	247, 000	196, 000	748, 000	170, 000	143, 000	118, 000	431, 000	95, 000	70, 000	55, 000	41, 000	261, 000	1, 440, 000
		予算計上額	305, 000	247, 000	195, 000	747, 000	170, 000	0	0	170, 000	0	0	0	0	0	917, 000
業		実 績 額	303, 276	245, 872	189, 810	738, 958	0	0	0	0	0	0	0	0	0	738, 958
費			交付金 305千 円	交付金 247千 円	交付金 195千 円		交付金 170千 円									
	事業費予算の		23件	21件	17件											
Ø	内容															
推																
移			借入残高の減	借入残高の減	借入残高の減		借入残高の減									
139	前年度予算と															
	の比較 (増減理由)															
	(增減理田)															
			同額	同額	繰り上げ償還に											
			門館	門野	採り上り頂遠に より借入残高が											
	実績との比較 (増減理由)				減ったため											
	(垣)观/王田)															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※過去に借入した実績で活動・成果指標に結びつかないため指標をなしとする。
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※過去に借入した実績で活動・成果指標に結びつかないため指標をなしとする。

						第 1 次 軍 旅	3 力年計画			第2次 実施	10.3 力年計画			쏨	3次実施4カ年	計画		/r/r = ++0
				-	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	合 計
		活動指標	1 計i	画値														
	指	(単位/		績値														
	標	成果指標		画値														
		(単位/	) 実	績値														
		事業の達用																
			票をもとに評	評価)														
		事業の成果 (成果指標	果 票をもとに評	平価)														
		事業の効果		11 јш/														
			┯╓ ニ対する成界	果)														
		総合評価						良好である										
					自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				Ä	農業経営改善計	農業経営改善計	農業経営改善計	平成24年度借入										
				1 7	画の達成に必要│ な資金の借入に│	画の達成に必要 な資金の借入に	画の達成に必要な資金の借入に	分から人・莀地 プランに付置付										
				5	対し金利を助成	対し金利を助成	対し金利を助成することによ	けられた認定農										
					することによ	することによ	することによ り、農業経営の	業者に5年間の										
				5	り、辰未経呂の 安定化を図り、	り、辰未経呂の 安定化を図り、	り、辰未程呂の 安定化を図り、	無利子化が適用される制度改正										
事				1	担い手の増加に	担い手の増加に	担い手の増加に	が行われ、市町										
	評						資すると認めら れる。	村の金利負担が 無くなったため										
務	価中			1	1000	16.000	1000	借入者数は大き										
135	内容							く増加しない										
	総合評価の利理由または指							が、過去より融 資を受けている										
事	総合評価の刊 理由または指 の実績値に関							認定農業者の農										
	理田または指 の実績値に関 る自己分析							業経営の安定化										
業								が図られている ため良好と判断										
								する。										
評																		
рт																		
価																		
		今後の方向	向性					現状のまま継続										
				F	R5 :				R8 :				R10 :				1	
				3	平成24年度借入分	から人・農地プ	ランに位置付けら	れた認定農業者										
							l度改正が行われ、 借入者の利子補給											
				,	にぃ無ヽなったハ り、農業経営の安	アスティス からの 安定化に繋がると	恒人有の利于補給 認められることか	ら継続する事業										
					と考える。													
	方向性	生の判断理	由															
	改善、 (R5	改革の内 R8、R10)	) 谷															
	(110)	(170)																

令和元年度 ~ 令和3年度

事業期間

第1次実施3力年計画

第3年次

第2年次

第1年次

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

事業 名 スマート農業推進事業

総合戦略掲載 0 過疎計画掲載 0

第3次実施4カ年計画

第9年次

第10年次

(単位:円)

総合計画

事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
(何のために実施する	を活用したリモ-	-トセンシング技	刻化しており、農 術やICT技術を活用 質向上を推進する	するスマート農	- 力化や軽労化を図る 農業を推進することⅠ	ため、ロボッ により、担い <sup>®</sup>	ト技術や人工衛星 手農業者の経営規模	手段 (どのような方法で 実現するのか)		の自動開閉機の購 1 棟当たり、15,0	入に係る経費の一 00円を補助。	部を補助する。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	育苗及び施設園園	芸等を行う農業者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	農作業の省力化力	が図れることで労	働時間が短縮され	、経営規模の拡大	に寄与するととも	<b>に農作物の品質向上が期待でき</b>
事業開始時の状況 緯		ることにより、別	農作業の省力化、高	高品質生産を実現	見するスマート農業	を推進するた		てビニールハウス						- ムをはじめとしたICTを活用す 拿入するために係る経費の一部を補

第2次実施3カ年計画

第6年次

第7年次

第8年次

第5年次

第4年次

#### [DO]

実績

実績との比較 (増減理由)

実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 債 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計 画 額 0 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 750, 000 750, 00 750, 000 750, 000 750, 00 750, 000 予算計上額 実 績 額 事業費合計 計画額 750, 000 750, 000 750, 000 予算計上額 750, 000 750, 000 実績額 補助金 750千 費 事業費予算の の 内容 推 ▲1,500千円 補助棟数の減 前年度予算と の比較 (増減理由) 希望者がいな かったため

指標	の推和	多・評価															
		1 (「手段」をも			閉器導入ハウス棟				算入したハウス棟3	数							
成集	指標 1	1 (「成果」をも	とに設定)	指標名:目動開	閉器を導入した農		指標の求め方:含	↑和元年度以降 <b>導</b>					_				
				第1年次	第1次実施第2年次	第3 年計画 第3 年次	実施3カ年	第4年次	第2次実施第3次実施	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第3次実施4力年記 第9年次	計画 第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合計
		活動指標 1	計画値	50													
	指標	成果指標 1	実績値計画値	0										<del> </del>	<del> </del>		4
	IX.	成果指標 1 (単位/人)	実績値											-			4
		事業の達成度 (活動指標を					達成されていない										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				上がっていない										
		事業の効率性					上がっていない										
		総合評価	9 る以本/				普通である										_
事務事業評価	容	総理理のの	評価の判断 またはに関す 己分析	E Company		自己分析:	判よい金業業がかかれる。高付事農となら	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	 E				廃止										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		R5: より補助率の高 たことから、概 る。	■ い地方創生交付金 ね需要は満たされ	を利用し、対象 でいると考え当!	事業の整備を行っ 该事業は廃止とす	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農業体験事業	!			事業期間	平成	.28年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	新規就農者の誘致	女を図り、本市の	農業の振興と地域	の活性化を図る				手段 (どのような方法で 実現するのか)	市内で新規就農る業を実施しするこ	を希望する者を対 ことで、就農のき	象に、「お試し暮 っかけづくりをし	らし」の施設を利 、新規就農者の均	引用して宿泊し、 曽加を図る。	も進農家で1週間程度の農業体験事
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内で新規就農る	E希望する者。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	就農へのきっかけ	けづくりを行い、	意欲ある新規就農	者を確保すること	こができる。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

		第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画				0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
道費計画				0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
地 方 債 計 画				0				0					0	0
投 予算計上				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
入その他計画				0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
実 績				0				0					0	0
れ 一般財源 計画				279, 000	94, 000	94, 000	94, 000		94, 000	94, 000	94, 000	94, 000	376, 000	937, 000
予算計上 宝 徳		93, 000	93, 000	279, 000	94, 000			94, 000					0	373, 000
天根		0	0	0				0					0	0
事業費合計 計 画	,			279, 000	94, 000	94, 000	94, 000	282, 000	94, 000	94, 000	94, 000	94, 000	376, 000	937, 000
予算計上		93, 000	93, 000	279, 000	94, 000	0	0	94, 000	0	0	0	0	0	373, 000
業 実績		(	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費	体験農園謝礼 70 千円	) 体験農園謝礼 70 千円	体験農園謝礼 70 千円		体験農園謝礼 70千円									
事業費予算の	燃料費 8千円	燃料費 8千円	燃料費 8千円		燃料費 8千円									
の内容	光熱水費 6千円 寝里リース 9千	光熱水費 6千円 寝具リース 9千	光熱水費 6千円 寝里リース 9千		光熱水費 6千円 寝具リース 10									
推	円	円	円		千円									
100	前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		寝具リース料の									
移前年度予算と	的一及これ版	n + X C P IX	10 T / X C 1-7 11X		値上がりによる									
					増									
(増減理由)														
		体験希望者がい												
実績との比較	なかったため	なかったため	なかったため											
(増減理由)														
		<u> </u>			II .			l .						

4	自標の	推移	・評価														
;	舌動指	標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:利用者	数		指標の求め方:和	间用者数									
J	<b>戊果指</b>	標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:新規就	農者等人数		指標の求め方:令	<sup>6</sup> 和3年度以降新	規就農者数累計								
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		指	舌動指標 1 計画値 (単位/人) 実績値	1 0	1 0	1		1	1	1		1	1	1	1		
		標	成果指標 1 計画値	2	. 2	3		3	4			5	5	6	6		
		_	(単位/人) 実績値	2	2	3											
		-	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されていない										
			事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっていない										
ı			事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっていない										
		á	総合評価				普通である										
	務	評価内容	総合評価の判 理由または指 の実績値に関 る自己分析	行っことは重り、進くない。ことは重り、進くない。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま	自一条合行な新す必るを発生しています。のでは、おいないは、は、おいないは、は、おいないは、は、おいないは、は、ないないは、は、ないないは、は、おいないは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	希望者がいた場合、農とは 会業とは を 会して が は り に り た り た り た り た り た り た り た り た り た	行うことは重要 なことであり、 新規就農を推進 するに当たり、	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
П		-	 今後の方向性				現状のまま継続										
				R5 :	H + 121 . 1 10 A	m ** 4 **	上は季素を言う	R8 :			1	R10 :				1	
	齿	善、	の判断理由 改革の内容 R8、R10)	であり、新規就規	望者がいた場合、 畏を推進するに当 希望者がきやすい	たり、必要な事業	であるため必要										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農業次世代人	、材投資事業			事業期間	平成	.24年度 ~ -	— 年度						•
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	農業従事者の高齢	<b>給化が急速に進展</b>	しており、青年の	新規就農者を増	加させることで持続	可能な力強い	農業の実現を図	手段 (どのような方法で 実現するのか)	経営リスクを負っ	っている新規就農	者の経営が軌道に	三乗るまでの間、-	-定の給付金を交	付する。
対象 (誰・何を対象としているのか)	独立・自営就農で 独立・自営就農5 就農する市町村の 生活費を支給する ないこと。	であること。 年度には農業で生 の「人・農地プラ る国の他の事業と	ン」に位置付けら	見可能な計画であれていること(」 。また、農の雇		・受けたことが	がある農業法人等で	(どのような効果が	経営の不安定な家り青年就農者のブ			「資金を交付するこ	ことで、青年の就	農意欲の喚起と就農後の定着によ
事業開始時の状況緯					筐保を目的とした青 ※経営開始型から名				「開始。就農準備期	明間の支援(就農	準備型)として2st	年間、就農直後の	経営が不安定な時	期の支援(経営開始型)として5年

## 【DO】 実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額	12, 000, 000	10, 125, 000	9, 750, 000	31, 875, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	23, 850, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	31, 800, 000	87, 525, 000
		予算計上額	12, 000, 000	7, 875, 000	7, 500, 000	27, 375, 000	7, 950, 000			7, 950, 000					0	35, 325, 000
		実 績 額	9, 358, 393	5, 185, 973	7, 235, 181	21, 779, 547				0					0	21, 779, 547
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
-		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源					0				0					0	0
た		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
事	事業費合計		12, 000, 000	10, 125, 000	9, 750, 000	31, 875, 000		7, 950, 000	7, 950, 000	23, 850, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	7, 950, 000	31, 800, 000	87, 525, 000
-414-		予算計上額	12, 000, 000	7, 875, 000	7, 500, 000	27, 375, 000		0	0	7, 950, 000	0	0	0	0	0	35, 325, 000
業		実 績 額	9, 358, 393	5, 185, 973	7, 235, 181	21, 779, 547		0	0	0	0	0	0	0	0	21, 779, 547
費			補助金 12,000千円 補助対象者 7件	補助金 7,875千円 補助対象者 6件	補助金 7,500千円 補助対象者 5件		補助金 7,950千円 補助対象者 6件									
の	事業費予算の															
0)	内容															
推																
744			補助対象者が増	補助対象者が減	補助対象者が減		補助対象者が増									
移	前年度予算と		加したことに伴 う増額	少したことによ る減額	少したことによ る減額		加したことによ る増額									
	の比較 (増減理由)		) and	O IIX BR	O IIX DR		O-B DR									
	(垣/吹生田)															
			対象者変更によ	対象者亦再に上	対象者の所得其											
	-4-1-11-1			る減	準超過による補											
	実績との比較 (増減理由)				助金額の減額											
	(增/改生日)															

指標	の推和	多・評価															
_		(「手段」を		指標名:新規給		の場合は夫婦で1	指標の求め方: 新			夫婦で 1)							
以朱	指標「	Ⅰ (「成果」を	もとに設定)	指標名:新規別		も3カ年計画	指標の求め方:令	11和3年度以降制		施3カ年計画				第3次実施4カ年記	<b>計画</b>		
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	合 計
	+1=	活動指標 1 (単位/人)	計画値	2	<u> </u>	1		ļ		1		<b>4</b>	1		1		4
	指標	成果指標 1	夫根胆 計画値	2	2 2	2 2	<u>,</u>		3 ,	4 .	4		5 !	5 (	6	6	
		(単位/人)	実績値	2	2 2	2 3	3										
		事業の達成/ (活動指標を	度 そもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率					少し上がっている										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	容	理師の影	合評価の判断 申またはに関す 自己分析	や進新い就る新着るで後行た手農こ規とこあなと者とは増加かかる新着るでといい、担関しているが、担関するのでは、地が、担関するのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	や後継者不足が 進行するなか、 新たな農業の担	新規就農者の定 着と増加が図れ	により、新規就農者の増加に繋がっていると思われるため。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向					現状のまま継続										
	改善.	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		の、全体的な農 状況である。今	家の高齢化により	● の確保が一定程度 、各地域の担い手 かしていくことに が必要である。	€できているもの ∈が足りていない	R8 :				R10:					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 0 過疎計画掲載 0

事 業 名	新規就農者支	援事業			事業期間	平成	15年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	新規就農者の誘致	改を図り、本市の	農業の振興と地域の	の活性化を図る。	,			手段 (どのような方法で 実現するのか)	新規就農者が農地	地を賃借した場合	や農業機械や資材	を購入した場合、	一定の助成金を3	交付する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に居住し、新	新たに農業経営に	よって自立しよう	とする者				成果 (どのような効果が 得られるのか)	意欲のある新規線	就農者を助成する	ことで、経営の安	定と新たな担い手	€の確保ができる。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	農村の高齢化、征	を継者不足が進むな を継者不足が進むな	い新たな担い引	∈を確保するため、	新規就農者への	の支援を実施。							

## [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
-		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
à		予算計上額				0				0					0	0
٥		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	0		900, 000	900, 000	166, 000	1, 050, 000	150, 000	1, 366, 000	1, 050, 000	150, 000	1, 050, 000	150, 000	2, 400, 000	4, 666, 000
		予算計上額	0	150, 000	1, 050, 000	1, 200, 000	166, 000			166, 000					0	1, 366, 000
<i>t</i> =		実 績 額	1, 341, 500	697, 500	1, 050, 000	3, 089, 000				0					0	3, 089, 000
事	事業費合計	計画額	0	0	900, 000	900, 000	166, 000	1, 050, 000	150, 000	1, 366, 000	1, 050, 000	150, 000	1, 050, 000	150, 000	2, 400, 000	4, 666, 000
		予算計上額	0	150, 000	1, 050, 000	1, 200, 000	166, 000	0	0	166, 000	0	0	0	0	0	1, 366, 000
業		実 績 額	1, 341, 500	697, 500	1, 050, 000	3, 089, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3, 089, 000
費の推	事業費予算の 内容		当初なし	農地貸借3件 150千円	農地貸借 3件 機械等 1件 補助金 1,050千円		農地貸借 4件 補助金 166千円									
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		申請予定者の減	申請予定者の増	申請予定者の増		機械等の補助申請者がいないことによる減									
	実績との比較 (増減理由)		機械等 3件 農地貸借 4件	機械等 2件 農地賃借 3件	機械等 1件 農地賃借 3件											

ŧ	自標の	推移	・評価															
ž	舌動指	標 1	(「手段」をもとり	こ設定)	指標名:助成金甲	申請者数		指標の求め方:即	力成金申請者数									
J.	<b></b>	標 1	(「成果」をもと	こ設定)	指標名:新規就提	農者数		指標の求め方:令	<sup>令</sup> 和3年度以降新	f規就農者累計								
						第1次実施	・ 3 カ年計画			第2次実施	13カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		指	活動指標 1 (単位/人)	計画値実績値	<u>1</u> 4	0	1 3			4	4	!	4	4	4	4		
		1205	成果指標 1	計画値	2	2	3		3	3 4	4		5	5	6	6		
			(単位/人)	実績値	2	2	3											
		L	事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				達成されている										
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				上がっている										
			事業の効率性 (事業費に対す)	る成果)				上がっている										
		i	総合評価					良好である										
	事 務 事 業 評 価			・ 価の判断 たは指標 値に関す	や進新い就る新着と就増すなとなど、担規するとなど、担規するとなど、担規するという。	や進新たなとない。 を表すななのでは、 を表すななのでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 を表するでは、 をのができるが、 をのができるができるが、 をのができるができるができるが、 をのができるができるができるができるができるができるができるができるができるができる	自農や進新い就る新着るでおれば、担規す、定れ効	農投も者りよ等安実変事り増当新農化で表別で変更がよりの定人影就て業農営なが、りの定人影就で変更ない。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		,	——— 今後の方向性					現状のまま継続										
	F				R5 :				R8 :				R10 :					
		古世	<b>こ</b> の判断理由		者等の拡充は、料 者である担い手	将来にわたり地域 として、経営規模	ており、当該事業 農業を担う意欲と 拡大や農地保全を ことから継続する	能力のある農業 図り、農業・農										
	改	善、	改革の内容 R8、R10)															

## 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

(単付:円)

事 業 名	地域おこし協	力隊事業			事業期間	平成3	80年度 ~ 令	和12年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	新規就農者の増力 活動を行うととも	で図るため、国 いに、農作業を通	の地域おこし協力  じ農業技術を習得	隊制度を活用し、 し、市内での新	・ 、農作業の支援や市 規就農を目指す。	ī内農業等の情	報発信などの地域	手段 (どのような方法で 実現するのか)	指導農業士や先業に必要な資格を	進農家への農作業 を取得させ、3年	の支援(農業研修 後には市内での新	多)により農業技術 f規就農を目指す。	fを習得するとと <sup>:</sup>	もに、農業大学校等での研修や農
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内で新規就農る	希望する者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	農業従事者の減ら	少や農業の担い手	不足の低減が図ら	<b>られる</b> 。		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	H3Oより新規就農	₹を目指す方を対象	に、委嘱型の農	作業支援員として募	募集を開始。H	30、R2、R3、R4I≂	人ずつ採用し、R31	こ1人が新規就農。	現在2人が新規勍	i農に向けて活動!	している。		

#### [DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 - 般 財 源 計画額 11, 490, 000 11, 490, 000 11, 490, 000 34, 470, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 25, 812, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 34, 416, 00 94, 698, 000 8, 604, 000 予算計上額 11, 490, 000 10, 972, 000 8, 969, 000 31, 431, 00 8, 604, 000 40, 035, 000 実 績 額 7, 120, 962 6. 926. 583 7, 760, 234 21, 807, 77 21, 807, 779 計画額 94, 698, 000 事業費合計 11, 490, 000 11, 490, 000 11, 490, 00 34, 470, 00 8, 604, 00 8, 604, 000 8, 604, 00 25, 812, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 34, 416, 00 予算計上額 11, 490, 000 10, 972, 000 8, 969, 000 31, 431, 000 8, 604, 000 8, 604, 000 40, 035, 000 実 績 額 7, 120, 962 6, 926, 583 7, 760, 23 21, 807, 779 21, 807, 779 報償 6,135千円 旅費 715千円 需用費 315千円 報償 7,746千円 旅費 804千円 需用費 315千円 報償 7,773千円 旅費 830千円 需用費 315千円 報償 5,871千円 旅費 515千円 需用費 570千円 費 事業費予算の 役務費 450千円 委託料 26千円 役務費 116千円 委託料 13千円 役務費 108千円 委託料 38千円 役務費 203千円 委託料 38千円 の 内容 賃借料 1.800千円 賃借料 1,752千円 賃借料 1,460千円 賃借料 1,200千円 備品 337千円 備品 161千円 備品 186千円 備品 199千円 推 会議負担金 12千円 会議負担金 12千円 会議負担金 12千円 会議負担金 8千円 採用予定者の増「役務費及び備品 任期満了の協力 協力隊員の減に による増額 等の経費の減 隊がいることに よる減額 前年度予算と よる経費の減 の比較 (増減理由) 採用者が予定よ 採用者が予定よ 建物借上げ・旅 り少なかったた り少なかったた 費・備品購入費 実績との比較 の減 め (増減理由)

指机	原の推和	多・評価															
		(「手段」を			地域おこし協力隊(農	作業支援)実人数			也域おこし協力隊			***					
成身	<b>長指標</b>	(「成果」を	とに設定)	指標名:新規就			指標の求め方:含	↑和3年度以降地 	也域おこし協力隊制		規就農をした延人	<b>数</b>					
				第1年次	第1次実施第2年次	第3年計画 第3年次	実施3カ年	第4年次	第2次実施第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第3次実施4力年記 第9年次	計画 第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	き 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	会計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1	計画値	1	С	1			1 c	) 1	1		1 (	1	1	1	
	指標	成果指標 1	実績値 計画値	3	1 2	2			5 .	5 (	6	-	7	1 5	8 ,	9	
		(単位/人)	実績値	1	1	2				·		<u> </u>			1		
		事業の達成が	痩 ·もとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成果					あまり上がってい										
		事業の効率	·もとに評価) *				ない				1					1	
		(事業費に対					変わらない										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務	評価	**************************************	合評価の判断	隊の制度を活くない。 動力制度を活くない。 ある的にらない。 を活くをでくるがいる。 はない。 と。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。	隊の制度を活用 することで、安 定的に収入を得 ながら農業研修	新規就農者確保	隊制度の活用に より、新規就農 希望者の増加に 繋がっていると										
事業評価		のヨ	日または指標 実績値に関す 目己分析														
		今後の方向	生				現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		R5: 現在、新規就農 望する例が多く、 続する事業と考:	、新規就農希望者	地域おこし協力隊の確保に繋がって	制度の活用を希心ることから継	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農作業受託組	織等育成支援	長事業		事業期間	平成	29年度 ~ -	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	4-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
のか)	これらを解消する受け農地を保全し	るためには、個々 していくことが必	の農家での引受け 要である。	では限界があり、		い農地所有適	がある。 格法人が農地を引 し耕作放棄地等の	(どのような方法で	受託作業に必要な	は農業用機械の新	規購入・更新に要	する経費の一部を	₹助成する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	農作業を受託して	こいる農業法人等						成果 (どのような効果が 得られるのか)						受託が進み耕作放棄地の解消が図
事業開始時の状況緯	・これまでの経	農村の高齢化、後	後継者不足が進むな	なか、多くの農地	2を引受け農業生産	活動を行う農地	地所有適格法人を新	新たな担い手として	支援をすることに	こより、優良農地	の保全が図られる	•		

## [DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	台計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計 画 額				0				0					0	0
予算計上額 				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投 予算計上額				0				0					0	0
実績額 実 額 番 の 他 計 画 額				0				0					0	0
入 そ の 他 計 画 額 予算計上額				0				0					0	0
3				0				0					0	0
まり  実り  類  割  割  割  割  割  割  割  割  割  割  割  割				0				0					0	0
れ 一 般 財 源 計 画 額 予算計上額				0				0					0	0
た実績額				0				0					0	0
天 根 俄	0	^	^	0	0	0	0	0		^	0	0	0	0
事事業質合計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 452 152	0	0	0	0	O O	U	0	0	U	0	0	0	0	U
費														
事業費予算の内容														
の内容														
推														
16														
移前年度予算と														
の比較(増減型力)														
(増減理由)														
実績との比較 (増減理由)														
(培)《理田)														

ŧ	自標の	推移	・評価															
;	舌動指	標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:申請件	数		指標の求め方:令	令和3年 <u>度</u> 以降申	ョ請件数累計 -								
J.	<b></b> 大果指	標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:農業法。	人受託面積		指標の求め方:当	当該年度受託面積	[/令和元年度受討	面積							
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画				3次実施4カ年記	计画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			活動指標 1 (単位/件)	計画値実績値					_	-	_	-						
		指標	成果指標 1 (単位/ha)	計画値		_	_		_	-	_	-	_	_	_	_		
			事業の達成度		0	0												
		7	(活動指標を 事業の成果															
		-	(成果指標を= 事業の効率性															
		L	(事業費に対す															
			総合評価		白己公坛:	白己公析:	白己公坛:	普通である	白己公坛:	白己公析:	白己公析:	判帐理中 ·	白己公坛:	白己公坛。	白己公坛:	白豆公析:	判除理中:	
	務	評価内容	理由の実	評価の判断 または指標 値に関す 己分析	ある機を発生した。 を発生した。 を表した。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	自己域に表現では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	ある農作業受・ 組織をることなっている。 の保全となり、 保全となりでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	今後、後継者不 足による耕作放 棄地発生防止の ため、農作業受 託組織への支援	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	評																	
	価																	
			——— 今後の方向性					現状のまま継続										
					R5: 地域の担い手で?	ある農作業受託組織	<u></u> 織を支援・育成す	·ることにより.	R8 :	•			R10 :				<u>"</u>	
						全、有効活用が図												
	5	<b>火善、</b>	の判断理由 改革の内容															
		(R5.	R8、R10)															

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	農業経営体支	援事業			事業期間	令和3	3年度 ~	令和5年	度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-3	他に関連す 基本事業	· る _		-				所管課係	農政課農政係
	高齢化に伴い担い要となるため。	<b>い手の経営面積が</b>	拡大する方向にあ	り、拡大した面積	- 責に対応するため!	こは、農作業機	械の大型化等	が必 手段 (どのよ 実現する	こうな方法で	規模拡大等に対応 100万円)	むするために農作	業機械を購入した	もの(50万円以上	:) に対し、10分	か3以内で補助を交付する。(上限
(誰・何を対象として	度以内に経営規模	莫拡大 (1.5ha以上	50歳未満の専業専 こ)か施設園芸作物 機を導入する生産	勿作付け面積拡大	者がいる65歳以上 <i>0</i> : (10a以上) 、ま	D農業者(個人紀 たは既に5戸か	経家)、過去 Nら農地を借り	3年 成果 「受け (どのよ 得られる	こうな効果が るのか)	国の補助事業を受	受けることが困難	な個人経営の農業	者へ補助すること	:により、持続的:	な農業経営ができるようになる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経														

## [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画	第3次実施4力年計画						
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
ì	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
t	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
<b>a</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ -	一般財源	計画額	5, 000, 000	5, 000, 000	5, 000, 000	15, 000, 000	5, 000, 000	5, 000, 000	5, 000, 000	15, 000, 000					0	30, 000, 000
+-		予算計上額	5, 000, 000	5, 000, 000	5, 000, 000	15, 000, 000	5, 000, 000			5, 000, 000					0	20, 000, 000
た		実績額	6, 649, 440	161, 436	3, 425, 250	10, 236, 126				0					0	10, 236, 126
事	事業費合計	計画額	5, 000, 000	5, 000, 000	5, 000, 000	15, 000, 000		5, 000, 000	5, 000, 000	15, 000, 000	0	0	0	0	0	30, 000, 000
		予算計上額	5, 000, 000	5, 000, 000	5, 000, 000	15, 000, 000	5, 000, 000	0	0	5, 000, 000	0	0	0	0	0	20, 000, 000
業		実績額	6, 649, 440	161, 436	3, 425, 250	10, 236, 126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10, 236, 126
費の推	事業費予算の 内容		補助金1,000千 円×5件	補助金1,000千 円×5件	補助金1,000千 円×5件		補助金1,000千 円×5件									
移真	前年度予算と の比較 (増減理由)		新規計上	前年と同額	前年と同額		前年と同額									
Tall X	実績との比較 (増減理由)		補助事業利用者 が多かったため	補助事業利用者が少なかったため	補助事業利用者が少なかったため											

ŧ	旨標の!	推移・	評価														
ž	舌動指標	票1 (	「手段」をもとに設定)	指標名:農業機構	械購入者数		指標の求め方:農	農業機械購入者数	Ż .								
J.	<b>戊果指</b> 核	票1 (	「成果」をもとに設定)	指標名:農業機構	械購入者数の累計		指標の求め方:農	崼業機械購入者数	の累計								
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	ŧ		動指標 1 計画値 (単位/人) 実績値	5 7	5 1	5 4		Ę	5	5							
	村	成	果指標 1 計画値	5	10	15		18	3 23	28	3						
		_	(単位/人) 実績値	7	8	12											
		(%	「業の達成度 舌動指標をもとに評価) 「業の成果				あまり達成されていない										
		(Д	成果指標をもとに評価)				変わらない										
		(=	業の効率性 事業費に対する成果)				変わらない										
		総	合評価	カコハゼ	カコハギ	カコハゼ	普通である	53 A #C	53.0£	습크 八 K	Not be to the	D 7 / K	カコハゼ	습크 八 K	<b>₽ 7 7 8</b>	Not Not Till et	
	事務事業評価	5 9	終合評価の判断	作た傾い経してド使トてか械 で農向担営工の日 農をととなる をがあ手積作こンたもい新に く増り農ををとなる もいまで、家拡続やしまい、 新に くながあ手積作こンたもい新に くない。 をとなる であた対 もいまが、 もいまで、 もいまで、 もいまで もいまで、 もっと もっと もっと もっと もっと もっと もっと もっと もっと もっと	自高作た傾い経してド使トてか槭支多の代を機向担望ていて用悪きら購援いいた。単位、大学で、入のので、は、一般では、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で	作た傾い経してド使トてか械 で農向担営い口用農を をがあ手積作こンたもい新に さがのは、家拡続やこったもい新に をととなる書るた対 をとなる書るた対 をとなる書るた対 をとなる書るた対 をとなる書るた対	してのと思えるというでは、他になって、との大変で、他のでで、他ので、他ので、他ので、他ので、他ので、他ので、他ので、他ので、他	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		슼	 ・後の方向性				現状のまま継続										
			23.777.17IE	R5 :				R8 :				R10 :					
	改	善、改	D判断理由 枚革の内容 8、RIO)	高齢化に伴う担にます拡大するこ。者への支援は必動	い手不足により、 とが予想されるた 要と考える。	一人当たりの耕作 め、引き続き規模	面積は今後ます を拡大する農業										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農地中間管	理事業			事業期間	平成	25年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-3	他に関連する 基本事業	4-1-2					所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	離農や経営規模の い手や新規就農る	の縮小する農家の 皆へ貸し付けるこ	農地に農地中間管 とにより、担い手	理機構が農地中! への農地集積と!	- 間管理権を設定し、 集約化を促進する。	農業経営の規	模拡大を目指す担	手段 (どのような方法で 実現するのか)	・機構集積協力金	事業の制度の啓蒙 全の交付や固定資	及び積極的な活用 産税の軽減措置な	の推進 ど、事業活用のメ	リットの情報提信	い手への農地の集積を図る。 共を行い事業の活用を推進する。 事業への乗り換えに向けた啓発を
対象 (誰・何を対象として いるのか)	離農や経営規模で	を縮小する農家及	び経営規模の拡大	を目指す農家				成果 (どのような効果が 得られるのか)	優良な農地の確保 また、耕作放棄地	R、有効活用が図 他の発生防止にも	られるとともに、 寄与する。	担い手による農用	地の集積、集約	比が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	一画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地方	请 債	計画額				0				0					0	0
投	L	予算計上額				0				0					0	0
1	. 61	実績額				0				0					0	0
入その	) 他	計画額	115, 000	115, 000	115, 000	345, 000				0					0	345, 000
à		予算計上額	0	0	0	0				0					0	0
. 40	D.L. 100	実績額	0	0	0	0				0					0	0
れ 一般	財 源	計画額				0				0					0	0
た	_	予算計上額				0				0					0	0
Alfa 1881	. A =1	実績額	115 000	445 000	445 000	0				0					0	0
事業費	台計	計画額	115, 000	115, 000	115, 000	345, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	345, 000
業	-	予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*		実績額	なし	なし	なし	0	0	0	U	0	0	0	0	0	0	0
費			<i>A</i> C	なし	なし											
事業費	予算の															
の一内容	容															
推																
			なし	なし	なし							İ		İ		
移 前年度	予算と															
の比	比較															
(増減理	理由)															
			I	14 I A - 1 = · · ·	I					1						
			協力金の申請が なかったため	協力金の甲請が なかったため	協力金の甲請が なかったため											
実績と	の比較		-512 2121207	-570 2121200	.6.0 ) [[ [ [ 0 ]											
(増減理	埋田)															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:当該年度	<b>基事業活用件数</b>		指標の求め方:	当該年度事業活用	開始件数								
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:担い手に	い手による農地集積率 指標の求め方:担い手の農地面積/市内の農地面積 (農地利用集積状況用調査より)												
		第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	宝施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	宝施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	宝施 4 カ年	総合計画

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	4E:	活動指標 1 計画個 (単位/件) 実績個		1	1		1	1	1		1	1	1	1		
	指標	成果指標 1 計画個		·	80		81	82	83		84	85	86	87		
		(単位/%) 実績値	<u>1</u> 75	74	74											
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価	)			あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価	)			変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判 理由または指 の実績値に関 る自己分析	用しながら担い 手への農地の集 積と集約化を進 めていく。	業の利用開始者 はいなかもも引き 続き、担い手へ の農地の集積と	自当業はが続の集い 自当業はが続の集い が成度開かるい、き、農地へ が度用開かる担のを ・に開かる引手機 が、き、農地へ ・に関かる引手機 が、き、地へ と ・に関いる引手機 が ・に関いる引き ・に関いる引き ・に関いる引き ・に関いる	件数は多くない が、別制などを 用て、担い手へ 農地の 集積は進	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		 今後の方向性				現状のまま継続										
		フ核の万円注	R5 :				R8 :			<u> </u>	R10 :					
	方向性 改善、 (R5、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	利用件数は多くだっとが予想される	ることから、担い	齢化などにより離 手へ農地を集積す 後も継続していく	るうえで、担い										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農民協議会活	動促進事業			事業期間	昭和	39年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施する のか)	各種農業問題につ 同協議会の活動の			農業団体との連	- 隽を図りながら、誤	<b>果題解決に向け</b>	ての運動を進める	手段 (どのような方法で 実現するのか)	農民協議会の運	営に係る費用を補	助(定額)する。			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市農民協議会	È						成果 (どのような効果が 得られるのか)	農民協議会の活	動が活性化され、	農民組織の育成か	「図られる。		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	農業者の社会的がまた、行財政改選	かつ経済的な向上で 革により平成17年原	を目指し、農政で ほから補助額を1	女革・農産物価格要 0%(15,000円)、	求運動・税対策 同様に平成209	策など組織の意思: 年度からはさらに	吉集に努め、砂川市 0%(13,000円)削	:農業の発展と農 <sup>材</sup> 減している。	村基盤の確立に寄-	与する諸運動を展	開する組織運営費	貴として助成してい	<b>いる</b> 。

## [DO]

実績

				第1次実施	53カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
1	国 費	計画額	(0+1)2/	(1+12/	(0+1)2/	0	(-1,2)	(1+12)	(0+12/	0	(0+1)2/	(10+12/	(11+1)2/	(12+12)	0	0
ľ	_ ^	予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
à	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
t	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
,~		実績額				0				0					0	0
入 .	その他	計 画 額				0				0					0	0
<del></del>		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ -	一般財源	計画額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	122, 000	122, 000	122, 000	488, 000	1, 220, 000
4		予算計上額	122, 000			366, 000	122, 000			122, 000					0	488, 000
た		実績額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000				0					0	366, 000
事	事業費合計	計画額	122, 000	122, 000		366, 000	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	122, 000	122, 000	122, 000	488, 000	1, 220, 000
		予算計上額	122, 000	122, 000	122, 000	366, 000	122, 000	0	0	122, 000	0	0	0	0	0	488, 000
業		実績額	122, 000	122, 000	,	366, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	366, 000
費			補助金 122千	補助金 122千	補助金 122千		補助金 122千									
3	事業費予算の		П	177	П											
の	内容															
推																
, i.e.			前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額									
移	前年度予算と		13 1 X C 1-3 LK	is 12 Cl-lik	15 1 X C 1-5 LK		13 1 X C 1-1 LK									
ľ	の比較															
	(増減理由)															
			同額	同額	同額							_				
5	実績との比較															
	(増減理由)															

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:交付額比率	指標の求め方:当該年度交付額/令和3年度交付額 ※令和3年度は令和元年度交付額と比較
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:農民協議会加入率	指標の求め方:当該年度農民協議会加入者数/前年度農民協議会加入者数×100

			200108			第1次軍協	3カ年計画			第2次軍施	3 力年計画			笙	3次実施4力年記	十画		<i>tata</i> → ++0
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
	指	(単位/9		実績値	100	100	100											
	標	成果指標	•	計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
		(単位/9		実績値	94	92	92											
		事業の達 (活動指標	標をもと	に評価)				達成されている										
		事業の成 (成果指標		に評価)				変わらない										
		事業の効 (事業費):		成果)				変わらない										
		総合評価	i					普通である										
事務事業評価	評価内容	3	総理の名 合評まを は 会 は き き さ う の る 自 き る り の る り の る り る り う る り う る り う る り う る り う る り る り	面に直に のはに関 断標す	農続の ・農 ・農 ・発 ・発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ で る り で う も り き し い き し い き し い き し い き し い う に う に り に う に う に う に う に う に う に う に	続的発展に資す る大学の動を実施 を を は で で き き き き き き き き き き き き き き き き き	自農納る対すが活組立立立が、発生の動民のである。	農業的た策とは、対すの資動実践性の対すの資動実践性の対して、施会化に運動を協活では、施会化には、対する活動ののとは、対するが、をは、対するが、対するが、対するが、対するが、対するが、対するが、対するが、対するが	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性					現状のまま継続										
	改善、	生の判断理 . 改革の内 . R8、R10	内容		農村基盤の確立に	- 寄与する諸運動	脱対策など、砂川 を展開する組織と れることから継続	して活動し、大	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	施設野菜等堆	<b>护肥購入助成事</b>	業		事業期間	平成	25年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
		への移行及び有機 安定化及び地域農		る地力の維持増	・ 進並びに安全・安心	かな農産物の生	産を推進すること	手段 (どのような方法で 実現するのか)	施設野菜等に施用	用するために市外	から購入する堆肥	己の運搬費に係る約	<b>圣費を助成する</b> 。	
		組合、農業団体、 り組む販売農家で		と認める団体で	、その組合員又は団	]体員が市内に	住所を有し、施記	(どのような効果が	11. 12 mm > 1- 7				ぎの安定や規模拡	大が促進され、農業・農村の活性
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画		第3次実施4カ年計画					第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
_			実績額				0				0					0	0
入	その	他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一般財	源	計画額	300, 000			900, 000	288, 000	,	288, 000		288, 000	288, 000	288, 000	288, 000	1, 152, 000	2, 916, 000
<i>t</i> =		L	予算計上額	294, 000			882, 000	288, 000			288, 000					0	1, 170, 000
12			実績額	98, 200	,		384, 750				0					0	384, 750
事	事業費台	計	計画額	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	288, 000	288, 000	288, 000	864, 000	288, 000	288, 000	288, 000	288, 000	1, 152, 000	2, 916, 000
****			予算計上額	294, 000	294, 000	294, 000	882, 000	288, 000	0	0	288, 000	0	0	0	0	0	1, 170, 000
業			実績額	98, 200	161, 900	124, 650	384, 750	0	0	0	0	0	0	0	0	0	384, 750
費	事業費予算	質の		補助金 294千 円	補助金 294千 円	補助金 294千 円		補助金 288千 円									
の	内容	升切															
推																	
移	前年度予算 の比較 (増減理E	ξ		前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		堆肥施用量の減									
				堆肥施用量が減	堆肥施用量が減	堆肥施用量が減											
	実績との」 (増減理E	比較由)		少したため	少したため	少したため											

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

活動技	指標 1	(「手段」		指標名:堆肥施原								和元年度運搬量(					
成果技	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:堆肥施原	用面積率		指標の求め方: 🗎	当該年度施用面積	/令和3年度施用	l面積(1,061a)>	<100 ※令和3年	<b>丰度は令和元年度</b> が	施用面積(625 t)	と比較			
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施 4 力年計	一画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標		100	·{			100	100	100		100	100	100	100		
	指標	成果指標	八根區	33 100				100	100	100		100	100	100	100		
		(単位/		170					100	100		100		100	100		
		事業の達 (活動指	試成度 標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成 (成果指	t果 標をもとに評価)				上がっている										
			に対する成果)				変わらない										
		総合評価	5	自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容			補助を行うの施になった。 を行うのるが、 を促する。 は、 はきまとと で進きない は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	補でをがけたいない。 神でをがずまない。 でで増家では、 とと を は と を は と を と と を の 図 る と 終 で 図 図 る と 終 で 図 図 る と る の の 図 る の と の の の の の の の の の の の の の の の の の	補助を行うことにでいる。 が、進す、ととのでが増進とと が増進の経費 と登費の経費	堆肥の施用を促 担軽減・地力 担軽減られてい があるため があるため				TIME I					тыст.	
		今後の方	向性				現状のまま継続										
	R5: 当該補助により、有機質の投入による地力増立 担の軽減に寄与していることから継続する事												R10:				

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	施設野菜資本	<b>  購入助成事業</b>	ŧ		事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度									
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係			
	れている。現在、 品として市場で(	稲作経営からの の評価も高く、所		野菜」経営が確: 担っている。	立され、トマト、		への転換が求めら ゅうりは市の特産	手段 (どのような方法で 実現するのか)	た方法で 施設野菜の生産に使用するビニール及びハウスの新設、更新に係る経費の一部を助成する。 か)								
対象 (誰・何を対象として いるのか)	施設野菜の生産に	こ取り組む農家で	組織した部会等の	会員、又は認定)	農業者であるもの。			成果 (どのような効果が 得られるのか)	施設野菜農家の総が図られる。	圣費の負担が軽減	されるとともに、	経営の安定さらに	は規模拡大を図	ることにより農業・農村の活性化			
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経																

## [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第 7 期				
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
		_	予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地フ	方 債					0				0					0	0
投		_	予算計上額				0				0					0	0
,			実績額				0				0						0
	そ 0	の他	計画額				0				0					0	0
さ		_	予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0						0
れ	— 般	財 源					0				0					0	0
た		_	予算計上額				0				0					0	0
/-			実績額				0				0						0
事	事業	費 合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-144-		_	予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業			実 績 額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費				申請があった場 合、補正対応	甲請かあった場 合、補正対応	甲請かあった場 合、補正対応		申請があった場 合、補正対応									
	事業費	予算の  容		補助金	補助金	補助金 じょしかりな新設 2		補助金									
の	内	容		ビニールハウス新設 2	t´=-ルハウス新設 2	ビニールハウス新設 2		ビニールハウス新設 2									
推				棟 1,300千円×0.1	棟 1 300千円×0 1	棟 1 300壬円×0 1		棟 1,300千円×0.1									
1111				1, 550     1 1 1 0. 1	1,000     1 1 1 0. 1	1,000     1 1 1 0. 1		1,000   1   1   0. 1									
移	前年度	子管レ															
	削半度の比	北較															
	(増減	理由)															
				申請実績なし	申請実績なし	申請実績なし											
	実績と	の比較															
	(増減	理由)															
					ı	ı	l i	ll.	ı		ш	ll .	l .	l .	ı	ı	

ŧ	旨標の打	推移・	評価														
37	5動指標	票1 (	「手段」をもとに設定)	指標名:申請者	数		指標の求め方:当	当該年度申請者数									
J.	<b></b> 定果指标	票1 (	「成果」をもとに設定)	指標名:新設・	更新棟数		指標の求め方:令	5和3年度以降新	f設・更新棟累計								
					第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	Ħ	<b>(</b>	動指標 1 計画 (単位/人) 実績			0 0		_			-						
	村	17人	果指標 1 計画								-		_		-		
		_	(単位/棟) 実績 「業の達成度	直	0 0	0											
		(%	・未の産成及 活動指標をもとに評値 「業の成果	i)			達成されていない										
		(Д	成果指標をもとに評価	i)			上がっていない										
			「業の効率性 事業費に対する成果)				上がっていない										
		総	合評価				問題がある										
	事務事業評価	5 9	総合評価のり 理由または関 の実績値に関 る自己分析	も	自由も葱減産野の可か担要るとは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の中のでは、水脈の下のでは、水原のではのでは、水原のでは、水原のでは、水原のでは、水原のでは、水原のでは、水原のではのではのでは、水原のではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではの	ものに対している。というでは、人のののようでに保めたい。人ののようでに保めたいでに保めたのでは、はいいのでは、大きないのでは、いきないのでは、これでは、いきないのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	も実た高り大雅のたのない。ないでは、また高り大雅のが、といるでは、からいこのでは、からいこのでは、からいいでは、からいのでは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今	後の方向性				手段の見直し										
				R5:	グェネダテロたい	1- L     +0+±+	- 松田耕 お - 上 コリ	R8 :				R10 :				1	
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			なっている。今	従事者等不足など 後は、規模拡大だ る制度設計が必要	けではなく、省カ											

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	稲作農業振興	助成事業			7				年度									
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業	5		-				所管課係	農政課農政係			
目的 (何のために実施するのか)	する 安心・安全な米作り及び付加価値の高良品質な売れる米作りを促進し、稲作農業の振興を図ることを目的とする。									: oような方法で 幼穂形成期における、ケイ酸肥料の購入に係る経費の一部を補助する。 するのか)								
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市水稲振興会、本市の農業協同組合、その他市長が認める団体で、その団体等が当該補助金を交付する会員等は 内に住所を有し、主食用米を作付する販売農家であること。									追肥によりタン/ 等、付加価値の高	パク質含有率を低 高い売れる米が生	下させるとともに 産され、稲作農業	こ、病害虫に対する まの振興が図られる	5抵抗性の向上、 5。	受光体制の改善、根活性の向上			
事業開始時の状況 緯	・これまでの経																	

## [DO]

実績

		第1次実施	13 力年計画			第2次実施	3 力年計画		第3次実施4カ年計画					
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	第 7 期 総合計画 合 計
国 費 計画	額			0				0					0	0
予算計				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
道費計画				0				0					0	0
予算計				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
地 方 債 計 画				0				0					0	0
投予算計				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
入その他計画				0				0					0	0
き 予算計				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
れ 一般財源 計画	,				671, 000	671, 000	671, 000	, ,	671, 000	671, 000	671, 000	671, 000	2, 684, 000	6, 710, 000
を 予算計 宝 続				2, 013, 000	671, 000			671, 000					0	2, 684, 000
大快		· · ·	· · · · · ·	1, 681, 507				0					0	1, 681, 507
事業費合計 計 画				2, 013, 000		671, 000	671, 000	2, 013, 000	671, 000	671, 000	671, 000	671, 000	2, 684, 000	6, 710, 000
予算計				2, 013, 000		0	0	671, 000	0	0	0	0	0	2, 684, 000
業実績	, ,			1, 681, 507		0	0	0	0	0	0	0	0	1, 681, 507
費	補助金 671千	補助金 671千	補助金 671千		補助金 671千									
事業費予算の	特別栽培80ha	口 特別栽培80ha	ロ 特別栽培80ha		口 特別栽培80ha									
の内容	普通栽培15ha	普通栽培15ha	普通栽培15ha		普通栽培15ha									
推		1												
71±	前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額									
移動在序文等上	前十及と同族	的一及こ門販	的一及こ門版		的干及こ門販									
前年度予算との比較														
(増減理由)														
		普通栽培・特別	同額											
実績との比較	栽培が減少した	栽培が減少した												
(増減理由)	たの減額となった。	ため減額となっ た。												
	/	1,20												
		1	ı		<u> </u>			l .	I .					

1	旨標の	推移	・評価															
3	舌動指	標 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:実施農業	業者数比率		指標の求め方:当	当該年度実施農業	者数/令和3年度	実施農業者数(1	15人) ※令和3	年度は令和2年度	実施農業者数(11	人) と比較			
J	<b></b> 成果指	標 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:肥料施用	用面積率		指標の求め方:当	当該年度肥料施用	面積/令和3年肥	!料施用面積(82h	na) ※令和3年	度は令和2年肥料	施用面積(88.5ha	i)と比較			
							3 力年計画				3 力年計画				3次実施4力年記			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		指	活動指標 1 (単位/%)	計画値実績値	100 136				100	100	100		100	100	100	100		
		1785	成果指標 1	計画値	100	.4			100	100	100	0	100	100	100	100		
	L		(単位/%)	実績値	93	117	74											
		ŀ	事業の達成度	とに評価)				達成されている										
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				少し上がっている										
			事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				少し上がっている										
			総合評価					良好である										
	務	評価内容	理由。	平価の判断標 または関禁 責値に関す	栽がる全付品作めに ・及高る全付品作めに ・及高るの要 ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので ・ので	栽培も作付面積 が減少傾向にあ るが、安心・安 全な米作り及び	自安作値売促はでることが、政のでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、あるのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	り、安心安全な 米作りが促進さ れている。ブラ ンド化にも大き	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			 今後の方向性					現状のまま継続										
					R5 :		14-11-18-19-14-1-1-1-1	44.0	R8 :			1	R10 :				<u> </u>	
					米の「ゆめぴりた 品質な米作りを打	か」では、最高金	作りが促進された 賞を受賞するなど また、ブランド化 。	高付加価値・高										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)																	

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	水稲種子温湯	殺菌消毒補助	金事業		事業期間	平成	28年度 ~ —	- 年度					ı	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	安心かつ安全で作湯殺菌消毒に係る			稲作農業の振興	- を図るため、農薬の	D使用量が低減	<b>できる水稲種子温</b>	手段 (どのような方法で 実現するのか)	る。		砂川農業協同組合 経費の3分の1以内			毒に係る手数料の一部を助成す ↑の2以内。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市水稲振興会に住所を有し、き	会、新砂川農業協 米を生産する販売	同組合、農業団体 農家であること。	、その他市長が	適当と認める団体で	ご、その組合員	又は団体員が市内		農薬等の使用が ることで、付加値 れる。	経滅され、安全安 西値の高い特別栽	心で付加価値の高 培米への移行を促	い米が生産できる し、経営の安定が	らとともに、慣行ま ・規模拡大が促進す	战培より特別栽培の補助率を上げ され、農業・農村の活性化が図ら
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
_			実績額				0				0					0	0
入	そ の	他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般 財	源	計画額	330, 000	330, 000	330, 000	990, 000	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000	1, 200, 000	3, 090, 000
+-			予算計上額	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	300, 000			300, 000					0	1, 200, 000
た			実績額	268, 554	249, 810	261, 800	780, 164				0					0	780, 164
事	事業費台	合計	計画額	330, 000	330, 000	330, 000	990, 000	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000	1, 200, 000	3, 090, 000
			予算計上額	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	300, 000	0	0	300, 000	0	0	0	0	0	1, 200, 000
業			実績額	268, 554	249, 810	261, 800	780, 164	0	0	0	0	0	0	0	0	0	780, 164
費				特別栽培5000kg	特別栽培5000kg	補助金 特別栽培3,500		補助金 特別栽培3,500									
o o	事業費予算 内容	算の		普通栽培5000kg		kg 普通栽培6, 600		kg 普通栽培6, 600									
推	内谷					自进权占0,000 kg		自通权占0,000 kg									
移				前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額									
19	前年度予算 の比較 (増減理)	交															
	実績とのは、(増減理)	比較由)		特別栽培、普通 栽培ともに減少 したため。	栽培ともに減少	特別栽培、普通 栽培ともに減少 したため。											

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:水稲種子温湯殺菌消毒利用者数比率	指標の求め方:当該年度利用者数/令和3年度利用者数(29人) ※令和3年度は令和元年度利用者数(30人)と比較
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:水稲種子温湯殺菌消毒利用率	指標の求め方:当該年度利用者数/当該年度水稲作付者数×100

						第 1 次宝施	3カ年計画			筆2次宝施	3 力年計画			<b>逆</b>	3次実施4力年記	+100		777 - HF
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
	指	(単位/9		実績値	97		97											
	標	成果指標	` '	計画値	50		l		50	50	50		50	50	50	50		
		(単位/9		実績値	52	49	52											
			標をもとし	に評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成 (成果指標	t果 標をもとI	に評価)				変わらない										
		事業の効 (事業費)	h率性 に対する原	成果)				変わらない										
		総合評価	5					普通である										
事務事業評価	評価内容		総 合評 ま 値 は 要 は 要 は 勇	面の 判積標す	農な農識る等さでいる後、農・大学が、ののれ付米こと推議ので、必要が、ののれ付米こと推議を実が、ののなけ来とは推議をは、いまないで、必要がある。	などのク対するに、大きなどののク対するに、大きなでのでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	で付加価値の局い米を生産でき	補助、作ていている。 いなりいれている。 いたでいれるにしいないにくない。 もないがるにしいといる。 はなさうきる断	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	 方向性					現状のまま継続										
	方向惊改善、	性の判断理 、改革の内 、R8、R10	里由 内容		米の「ゆめぴりか 品質な米作りを推	い」では、最高金	 作りが促進された 賞を受賞するなど また、ブランド化。	。特に特別栽培 高付加価値・高	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農地土壤分析	補助金事業			事業期間	平成	29年度 ~ —	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	有機農業や特別制 ることにより、11 農業の促進を図る	:学肥料を低減す	など、クリーン農 る等の適正な施肥	業を実践する農 による収量、品!	業者に対し、土壌分 質の安定化とコスト	↑析にかかる費 ・低減を図ると	用の一部を補助す ともに、クリーン	手段 (どのような方法で 実現するのか)	土壌分析に要する	る経費の1/3以	内を補助する。			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	有機農業、特別素 圃場	は培農産物の取組	、YES!Clean患	農産物の取組、エ	コファーマーの取	組などのクリー		成果 (どのような効果が 得られるのか)	土壌分析による化	ヒ学肥料の低減な	ど適正な施肥によ	る収量・品質の安	定定化とコスト削減	或への取組の推進が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

		第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画				0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
道 費 計画				0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
地 方 債 計 画				0				0					0	0
投予算計上				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
入その他計画	***			0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
<b>美</b> 積				0				0					0	0
れ 一般財源 計画				306, 000	65, 000	65, 000	65, 000		65, 000	65, 000	65, 000	65, 000	260, 000	761, 000
を 予算計上				306, 000	65, 000			65, 000					0	371, 000
大快	,			115, 318				0					0	115, 318
事業費合計 計 画				306, 000	65, 000	65, 000	65, 000	195, 000	65, 000	65, 000	65, 000	65, 000	260, 000	761, 000
予算計上			102, 000	306, 000	65, 000	0	0	65, 000	0	0	0	0	0	371, 000
業 実績			40, 322	115, 318	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115, 318
費	補助金 102千	補助金 102千	補助金 102千		補助金 65千円 水田 100点									
事業費予算の	水田 140点	水田 140点	水田 150点		畑地 100点									
の内容	畑地 150点	畑地 150点	畑地 166点											
推														
1E	前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		実施点数の減に									
移り前年度予算と	前十及と同僚	前十及と同僚	前十及こ門領		よる減額									
(増減理由)														
		1												
	実施点数が少な	実施点数が少な	実施点数が少な											
実績との比較	かったことによ	かったことによ	かったことによ											
(増減理由)	る減額	る減額	る減額											
		1												
		1			II.			l						

1	旨標の	推移	・評価															
;	舌動指	標 1	(「手段」をもる	に設定)	指標名:土壌分	折実施数比率		指標の求め方:当	当該年度実施数/	′令和3年度実施数	(54名) ※令和	3 年度は令和元年	度実施数(46名)と	比較				
J	<b></b> 人果指	標 1	(「成果」をもる	に設定)	指標名:クリー:	ン農業取組圃場面	積率(Yes clear	1指標の求め方:当	当該年度面積/令	和3年度面積(68	3. 4ha) ※ 令	和3年度は令和元	年度面積(224. 2h	a)と比較				
Γ							3 力年計画				3 カ年計画				3次実施4カ年計			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			活動指標 1	計画値	100		100		100	100	100		100	100	100	100		
		指標	(単位/%)	実績値 計画値	117				100	100	100		100	100	100	100		
1		IX.	成果指標 1 (単位/%)	実績値	31		{		100	100	100		100	100	100	100		
			事業の達成度 (活動指標をも					達成されている										
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				あまり上がってい ない										
			事業の効率性					変わらない										
П			総合評価					普通である										
	務	評価内容	理由の実	評価の判断標 または指す するが析	かったものの、 環境にロー消費 パクトでの高い ニーズの農業を リーン農業を推	自取増が加り進要れ分析場は、しつすなる。日報のでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、はい増り推めた	特別対の取はは、大いいは増加では、大いいには、大いいには、大いいには、これでは、これでは、これでは、大いいには、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	組面積は増えていない。 いない析実施のの、 土壌分析している数は増加している。 り、クリーン農業の推進に寄与	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
1			今後の方向性					現状のまま継続										
					R5: 環境への負荷を	■ 低減し、消費者ニ	一ズの高いクリー		R8 :				R10 :				II.	
	5	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			る上で必要な補助	助であることから	継続する。											

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農業経営資金	貸付事業			事業期間	昭和	46年度 ~	— 年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	農業経営に必要なの合理化、近代化	は機具、施設や土 とを促進するとと	地改良を進めよう もに、農業経営の!	とする生産団体に 安定化につなげん	- に対して無利子資金 る。	⋭の貸付を行う	ことにより、農業	手段 (どのような方法で 実現するのか)	果樹経営、農機 なお、農業協同	具購入、施設整備 組合が窓口となり	、土地改良に要す 生産団体の調整を	する経費に対し5年 を行っている。	F以内の償還の無	利子貸付を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	農業者が組織する	5生産団体等						成果 (どのような効果が 得られるのか)	貸し付けを行っ	た農業生産団体の	経費負担が平準化	とされ、農業経営 <i>0</i>	)安定に資する。	
事業開始時の状況緯					5現在まで実施され 引で1千万円削減(				業団体等に農業	の合理化や近代化	を促進するととも	。 に、農業経営の安	定定化を図ることを	を目的に実施している。

## [DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
[	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
ò	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
j	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
,^		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額	3, 918, 000	4, 029, 000	4, 980, 000	12, 927, 000	5, 391, 000	4, 749, 000	4, 484, 000	14, 624, 000	4, 578, 000	4, 523, 000	4, 562, 000	4, 464, 000	18, 127, 000	45, 678, 000
+		予算計上額	3, 918, 000	4, 028, 000	4, 980, 000	12, 926, 000	5, 391, 000			5, 391, 000					0	18, 317, 000
\$		実 績 額	3, 917, 000	3, 426, 000	4, 980, 000	12, 323, 000				0					0	12, 323, 000
れ -	一般財源	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
た		実 績 額				0				0					0	0
事	事業費合計	計 画 額	3, 918, 000	4, 029, 000	4, 980, 000	12, 927, 000	5, 391, 000	4, 749, 000	4, 484, 000	14, 624, 000	4, 578, 000	4, 523, 000	4, 562, 000	4, 464, 000	18, 127, 000	45, 678, 000
7		予算計上額	3, 918, 000	4, 028, 000	4, 980, 000	12, 926, 000	5, 391, 000	0	0	5, 391, 000	0	0	0	0	0	18, 317, 000
業		実 績 額	3, 917, 000	3, 426, 000	4, 980, 000	12, 323, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12, 323, 000
200-			貸付金 3,918千円	貸付金 4,028千円	貸付金 4,980千円		貸付金 5,391千円									
費	± # # 7 # 0															
の	事業費予算の 内容															
	F17E7															
推																
移			資金貸付団体の				資金貸付団体の									
19	前年度予算と		返済額による 増。	返済額による 増。	返済額による 増。		返済額による 増。									
	の比較 (増減理由)		-110	-110	780		-110									
	(培)《理田)															
			ほぼ同額。	資金貸付の要望	田畑											
				貧金貨付の要望 が少なかったた	円 預											
5	実績との比較 (増減理由)			め。												
	(増減理田)							]								

指	標の	生移・評価	ī															
活	動指標	裏1(「手段	ととに設定 とりまた とりがた かんりょう かんりょう かんしょ かんりょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	2)	指標名:貸付件数	数		指標の求め方:	当該年度貸付件数									
成	果指標	裏1(「成果	艮」をもとに設定	2)	指標名:貸付限局	<b></b>		指標の求め方:	当該年度貸付額/	貸付限度額								
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	T	活動指	標 1 計	画値	(3年度)	(4年度)	(3年度)		1	(7年度)	(0年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		
	<b>井</b>	(単位	(件) 実	績値	1	1	1											
	有	成果指 (単位	121	画値 結値	100 100				100	100	100		100	100	100	100		
	H		達成度	神胆	100	00	100	****										
			皆標をもとに記	評価)				達成されている										
		事業の (成果打	成果 指標をもとに記	評価)				あまり上がってい ない										
			効率性	<b></b>				変わらない										
		総合評	豊に対する成身 (価	朱)				良好である										
		彩百計	-1ш		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					農業経営資金負担の平準化及び	農業経営資金負担の平準化及び	農業経営資金負 担の平準化及び	資金貸付団体の 返済額により貸										
					負担軽減が図られている。	負担軽減が図られている。	負担軽減が図られている。	付額は増減するが、貸付件数・										
					れている。	11.60.00	れている。	貸付資金投入率										
								はともに良好に 推移しており、										
ā	<b>F</b>	ī						農業経営の安定 化につながって										
	ſī	Б						いるため良好と 判断した。										
3	务 p							中間した。										
7			総合評価の理由または	指標														
-	₽		の実績値にる自己分析															
thing.	集																	
1	泙																	
ſ	<b>m</b>																	
		Δ%.0						現状のまま継続										
	H	ラ仮の	方向性		R5 :			死仏のまま胚院	R8 :				R10 :					
					市内の農業団体等	等に農業の合理化 が図られていると	や近代化を促進す判断でき、今後に	るとともに、農										
					る事業と考える。		中間でき、子図に	- 83 0 · C O 响应45L 9										
	方	向性の判断 善、改革の	所理由 D.中容															
	CX (	音、以単の R5、R8、R	カ内谷 10)															

#### 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	中山間地域等	直接支払交付	<b>寸金事業</b>		事業期間	平成1	3年度 ~ 숙	↑和6年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	生産条件が不利が 棄地の発生防止し の確保を図る。	は中山間地域等に こつなげるととも	おいて、農業生産 に、中山間地域等	を行う者に直接3 の農業・農村が7	- 交付金を支払うこと 有する水源涵養機能	:により、生産 も、洪水防止機	性の向上や耕作が 能等の多面的機能	手段 (どのような方法で 実現するのか)	対象農用地での	取組について現地	及び集落協定等に	て確認し、集落協	協定を締結した「:	集落」に交付金を交付する。
対象 (誰・何を対象としているのか)	農用地区域内の創 (耕作)者。 砂川市と集落協力			定により5年以_	上継続して農業生産	≦活動を行う対	象農用地の所有	成果 (どのような効果が 得られるのか)		の維持のため、国 面的機能の確保が		り支援することで	ご、中山間地域等	における耕作放棄地の発生を防止
事業開始時の状況 緯		りることになつん	/ <b>C</b> o		: して実施(砂川市 )事業の拡大を進め		から)していたが	. 国の実施した事業	評価に基づき平原	<b>対17年度から継続</b>	事業として21年度	まで(第2期対策	€)、平成22年度が	から26年度まで(第3期対策)実施

#### [DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 20, 116, 000 19, 930, 000 19, 930, 000 19, 930, 000 59, 790, 00 20, 116, 000 20, 116, 000 60, 348, 000 20, 116, 000 20, 116, 000 20, 116, 000 20, 116, 000 80, 464, 00 200, 602, 000 予算計上額 19, 931, 000 19, 930, 000 19, 930, 000 59, 791, 000 20, 116, 000 20, 116, 000 79, 907, 000 実 績 額 19, 930, 369 19, 930, 369 19, 968, 634 59, 829, 37 59, 829, 372 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 - 般 財 源 計画額 6, 530, 000 6, 530, 000 6, 530, 000 19, 590, 00 6, 678, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 20, 034, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 6, 678, 000 26, 712, 00 66, 336, 000 6, 678, 000 予算計上額 6, 615, 000 6, 616, 000 6, 616, 000 19, 847, 00 6, 678, 000 26, 525, 000 実 績 額 6, 614, 793 6. 614. 793 6. 824. 512 20, 054, 09 20, 054, 09 計画額 266, 938, 000 事業費合計 26, 460, 000 26, 460, 000 26, 460, 00 79, 380, 00 26, 794, 00 26, 794, 000 26, 794, 00 80, 382, 000 26, 794, 000 26, 794, 000 26, 794, 000 26, 794, 000 107, 176, 00 予算計上額 26, 546, 000 26, 546, 000 26, 546, 000 79, 638, 000 26, 794, 000 26, 794, 000 106, 432, 000 実 績 額 26, 545, 162 26, 545, 162 26, 793, 146 79, 883, 470 79, 883, 470 旅費 10千円 旅費 10千円 旅費 10千円 需用費 64千円 費 需用費 64千円 需用費 64千円 需用費 64千円 役務費 9千円 役務費 9千円 役務費 9千円 役務費 9千円 事業費予算の 使用料 3千円 使用料 3千円 使用料 3千円 使用料 3千円 の 内容 交付金 26,460千円 交付金 26,460千円 交付金 26,460千円 交付金 26,708千円 推 前年度と同額 前年度と同額 前年度と同額 対象面積の増に よる増額 前年度予算と の比較 (増減理由) 同額 同額 対象面積の増に よる増額 実績との比較 (増減理由)

指相	栗の推和	多・評価															
活動	動指標 <sup>一</sup>	1 (「手段」	をもとに設定)	指標名:交付対	象農用地面積比率		指標の求め方:当	当該年度面積/令	1和3年度面積(324	4ha) ※令和3年	度は令和元年度面	面積(334ha)と比較					
成县	果指標 :	1 (「成果」	をもとに設定)	指標名:耕作放	棄地発生率		指標の求め方:対	対象農用地内耕作	放棄地/当該年度	[対象農用地面積	× 100						
						3 カ年計画				3 力年計画				3次実施4力年記			第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
		活動指標	1 計画値	97		97		97	7 97		7	97	97	97			
	指	(単位/%	実績値	97		101											
	標	成果指標(単位/%		C	` <b> </b>	0			0	(	0	0	0	0	0		
		事業の達用	八根區	U		0	達成されている										
		事業の成績					変わらない										
		事業の効果					変わらない										
		総合評価	-7.3 7 @78287				良好である										
事務事業評価	評価内容	型 0	<sup>念</sup> 合評価の判断 理由またはに関す 5自己分析	き活けない。 き活が、大きないないない。 き活が、大きないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	自集き活て棄止農面なめおない。と、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	き共同活動等された東北の東北の東北の東北の東北ののと農かののと農かののと農かののは、一次のは、一次のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学	り、級領科地象機のは、そのでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方「	 句性				現状のまま継続										
				生防止と農業・	■ 成24年度から事業 農村の多面的機能 ことから継続する	の確保が進められ	耕作放棄地の発	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	経営所得安定	対策直接支払	ム推進事業		事業期間	平成	27年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
	国が実施する経済 経費を補助する。	営所得安定対策を	円滑に実施するたと	め、事業の実施	主体である砂川市農	昊業再生協議会	へ事業実施に係る	手段 (どのような方法で 実現するのか)			の受付、配布、回 を円滑に実施する			集計業務のほか、米・水田活用
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市農業再生	加議会						成果 (どのような効果が 得られるのか)	経営所得安定対象	策事業における各	種交付金が国から	直接農業者に交付	けされ、農業経営(	の安定が図られる。
事業開始時の状況 緯			から本格実施する 基本的に同じ枠組み			に実施するたと	めの事務費であり、	財源は全額補助と	なっている。なお	お、平成25年度に	ついては、農業者	戸別所得補償制度	こから経営所得安気	定対策へ名称変更し、農業者戸別所

## [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額	1, 652, 000	1, 652, 000	1, 652, 000	4, 956, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	7, 068, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	9, 424, 000	21, 448, 000
		予算計上額	1, 652, 000	1, 946, 000	2, 081, 000	5, 679, 000	2, 356, 000			2, 356, 000					0	8, 035, 000
		実績額	1, 652, 000	3, 875, 290	1, 882, 000	7, 409, 290				0					0	7, 409, 290
地	方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
_		実績額				0				0					0	0
入そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>ĕ</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ 一 角	投 財 源	計画額				0				0					0	0
+.		予算計上額				0				0					0	0
<i>t</i> =		実績額				0				0					0	0
事事業	費合計	計画額	1, 652, 000	1, 652, 000	1, 652, 000	4, 956, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	7, 068, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	2, 356, 000	9, 424, 000	21, 448, 000
		予算計上額	1, 652, 000	1, 946, 000	2, 081, 000	5, 679, 000	2, 356, 000	0	0	2, 356, 000	0	0	0	0	0	8, 035, 000
業		実績額	1, 652, 000	3, 875, 290	1, 882, 000	7, 409, 290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7, 409, 290
費			補助金 1,652千円	補助金 1,946千円	補助金 2,081千円		補助金 2,356千円									
	費予算の															
0	内容															
推																
TIE			対象経費の増	対象経費の増	対象経費の増		対象経費の増									
移	中マ 生し		が多性見の垣	対象性貝の垣	か 外性 貝の塩		か 外性 貝の垣									
削年が	度予算と D比較															
	減理由)															
				e-maff(電子申												
宝结	との比較			請システム)の	分の減額による											
(増)	減理由)			導入による事業 費の増。	<b>河</b> 炙											
				X-7780												
							ll .									

#### 指揮の推移・評価

指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:	_				困難であることか								
指標1	(「成果」をもとに設定)	指標名:交付申	請率		指標の求め方:	当該年度経営所得	安定対策申請者数	//当該年度交付対	対象農家戸数×10	0					
			第1次実施	も3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	一画		第 7
		第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計合
41-	活動指標 1 計画			<u> </u>							 	 			
指標	(単位/ )     実績       成果指標 1     計画		0 100	100		100	100	100		100	100	100	100		
	(単位/%) 実統														
	事業の達成度 (活動指標をもとに評	価)			達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評	価)			変わらない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果	)			変わらない										
	総合評価				良好である										
評価内容	総合評価の# 理由またはま の実績値に る自己分析	経営所得安定対策を円滑を連めるための表を表してある。	自己分析のでは、日本ので	経営所得安定対 策を円滑に進め	策の円滑な事務 処理が行われた	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	今後の方向性	R5: 経営所得安定対 する事業と考え	策事業の円滑な事	務作業のために必	現状のまま継続	R8 :				R10 :					

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

	総合戦略掲載	0	過疎計画掲載	×
--	--------	---	--------	---

事 業 名	農業6次産業	化支援事業			事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施する のか)	農業者による農業 により農業経営の 与する。	ἔ及び関連事業の Ͻ複合化・多角化	総合化を促進する を図ること(6次	ため、農業者が原産業化)に対しる	・ 農産物の生産・加工 支援することで、農	・販売を一体 農業経営の改善	的に行う取り組み を図り活性化に寄	手段 (どのような方法で 実現するのか)	情報提供及び国権	などの補助事業の	活用の協議			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	農産物の生産・カ	ロエ・販売を一体	的行う農業者					成果 (どのような効果が 得られるのか)	農業者等が加工ことにより、農業	・販売等に取り組 業経営所得の向上	む経営の複合化、 や地域の活性化か	多角化を進め、そ 「図られる。	そこから生じる付	加価値を農業経営の中に取り込む
事業開始時の状況緯	い。これよりの程	設した。市におり	いても国の支援制	度等を活用しなか	『業の創出等及び地 『ら、6次産業化に』 『わないことから取	資する整備事業	を実施する農業法.	る法律」(六次産 人等に対し支援をす	業化法)を平成2 することで、農業	3年3月1日に施行 経営の改善、活性	し、農林水産業の E化に寄与する目的	)振興に向けた6次 的で取組みを進め	産業化を図ろうと る。平成23年度に	する農業法人等への補助事業を創 市内法人より相談があり平成24年

## [DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美 積 額				0				0					0	0
れ一般財源計画額				0				0					0	0
予算計上額 宝 縛 類				0				0					0	0
大帆帜				0				0					0	0
事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
144														
推														
移														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
								1					1	
実練しの比較														
実績との比較 (増減理由)														

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

		手段」をもと		指標名:	_		指標の求め方:流										
成果指標	1 (「)	成果」をもと	:に設定)	指標名:連携取組	祖数		指標の求め方:目	目標値の設定が困	難なため実績値の	の管理とする							
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	も3カ年計画	_		5	第3次実施4力年	計画	_	第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
指	( ))/	カ指標 1 Ĺ位/ )	計画値実績値														
標	_	<u>//</u> !指標 1	計画値														
_		位/)	実績値	0	0	0											
		の達成度 動指標をも	とに評価)				達成されていない										
		きの成果 果指標をも	とに評価)				上がっていない										
		真の効率性 業費に対す					変わらない										
	総合	評価					問題がある										
事務事業評価		理由		自事 大が に まな が に まな が に まな が に まな が に は の と と まな の に は の と に の に に の に に の に に に の に に に の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	人等の申請がな かったため、成 果指標は0と	かったため、成	取り組むには、	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	今後	その方向性					手段の見直し										
				活用し、農業経営	経営の複合化・	域の活性化を図る いなど、6次産業f	目的で事業を進 比への取り組みが	R8 :				R10 :		•	•		

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	乳牛検定助成	事業			事業期間	昭和	50年度 ~	— 年度			•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業			 		所管課係	農政課農政係
	砂川市の畜産振り 産農家の負担を 車			支部が実施して	- いる同事業に係る費	門の一部を補	助することで、i	手段 (どのような方法で 実現するのか)	中空知乳牛検定業費用の一部を助け	月で実施する乳牛	-検定事業(牛群管	管理、搾乳量、乳	成分、体細胞、繁殖管理)に係る
対象 (誰・何を対象として いるのか)	中空知乳牛検定約	且合砂川支部						成果 (どのような効果が 得られるのか)	乳牛検定を支援・ と収入の確保が	体改良を積極的に	-推進し、乳牛1頭	頁当たりの搾乳量:	を増やすことで安定した生乳生産
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	酪農経営の安定化 行政改革により <sup>ュ</sup>	比と畜産振興を図 ₹ 平成17年度から100	ることを目的に¶ , 000円を75, 000	事業が開始された。 円に、また、平成2	0年度からは、	さらに10%削減	(△7,000円) した。					

## [DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額	68, 000	,		,	68, 000	68, 000	68, 000		68, 000	68, 000	68, 000	68, 000	272, 000	680, 000
予算計上額	68, 000	,		,	68, 000			68, 000					0	272, 000
た実績額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000				0					0	204, 000
事 事業費合計 計 画 額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000	68, 000	68, 000	68, 000	272, 000	680, 000
予算計上額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	68, 000	0	0	68, 000	0	0	0	0	0	272, 000
業 実績額	68, 000	68, 000	68, 000	204, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204, 000
費	補助金 68千円	補助金 68千円	補助金 68千円		補助金 68千円									
事業費予算の														
の内容														
+#-														
推	前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額									
移	削平及问領	削平及问領	削平及问額		削平及问領									
前年度予算との比較														
(増減理由)														
	同額	同額	同額											
実績との比較														
美線との比較  (増減理由)														
		l			JI				I					

_			をもとに設定)	指標名:受検頭数								は令和元年度受検頭					
成果	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:乳量増加		0 ± #=!=	指標の求め方:	(当該年度総乳量			+ 度総乳量(1,95	8t) /令和3年度				元年度総乳量(1,	
				第1年次	第1次実施第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第2次実施第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	3次実施4カ年計 第9年次	·迪 第10年次	宝佐 4 九 年	第 7 期 総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	会計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	会計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	実施4カ年 合 計	合 計
		活動指標		110	<b></b>	{		110	110	110		110	110	110	110		
	指標	(単位/ 成果指標	入根框	104				100	100	100		100	100	100	100		
		成未指的 (単位/		122		l			100	100		100	100	100	100		
		事業の選 (活動指	を成度 標をもとに評価)				達成されている										
		事業の原 (成果指	成果 標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の交 (事業費	加率性 に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価	Б				良好である										
事務事業評価	評価内容		総合評価の判 理由または指標 の実績値に関 る自己分析	の乳はおいます。 のれての経する かいまた の経なる かいまた ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とく ない とい	の乳量が維持されており、酪農 家の経費負担軽 滅となることか	自乳のれ家減らる。	り増加が見ら れ、酪農家の経 費負担軽減とな	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の力	向性				現状のまま継続										
	改善、	改革の	今後の方向性  R5: 乳牛検定を支援は個体改良を推進し、乳牛やすことで安定した生乳生産と収入の確係でき、今後においても継続する事業と考えの判断理由改革の内容R8、R10)				りの搾乳量を増	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	優良種雄牛精	液購入費助成	事業		事業期間	昭和4	5年度 ~	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施する のか)	乳用種雄牛評価成 の生産性の高い乳	找績により選定し ↓牛を確保すると	た種雄牛の精液購足 ともに、経営の安置	入費の一部を助用 定向上につなげて	- 成することで、畜産 ている。	農家の経費負	担を軽減し、生乳	手段 (どのような方法で 実現するのか)	新砂川酪農振興名	会への優良な種雄	牛の精液を購入す	<sup>-</sup> る費用の一部を助	か成する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	新砂川酪農振興会	<b>会</b> (市内酪農家)						成果 (どのような効果が 得られるのか)	生乳生産性の高い	ハ乳牛が確保でき	<b>ა</b> .			
事業開始時の状況緯						20年度からは、	、さらに10%削減(	△15,000円)する	ことになっている	5.				

## [DO]

実績

			第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国					0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
道					0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
地方信					0				0					0	0
投	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
入その他					0				0					0	0
à	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源						135, 000	135, 000	135, 000		135, 000	135, 000	135, 000	135, 000	540, 000	1, 350, 000
<i>t</i> =	予算計上額				405, 000	135, 000			135, 000					0	540, 000
	実 績 額		,		405, 000				0					0	405, 000
事業費合計					405, 000	135, 000	135, 000	135, 000	405, 000	135, 000	135, 000	135, 000	135, 000	540, 000	1, 350, 000
alla.	予算計上額			135, 000	405, 000	135, 000	0	0	135, 000	0	0	0	0	0	540, 000
業	実 績 額			135, 000	405, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	405, 000
費		補助金 135千	補助金 135千	補助金 135千 		補助金 135千									
事業費予算の		l''	1 3	l' <i>'</i>		1 3									
の内容															
推															
1E		前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額									
移前年度予算と		的一及こ四級	的一及こ門版	10 一及こ門取		前十及こ門頭									
別年度で昇で															
(増減理由)															
		同額	同額	同額											
実績との比較	<b>5</b>														
(増減理由)															
			1	1		II .									

活	動指標	1 (「手段」	をもとに設定)	指標名:精液購入	入比率		指標の求め方:当	<b>á該年度精液購入</b>	数/令和元年度精	液購入数(150本	)						
成	果指標	1 (「成果」	をもとに設定)	指標名:乳量増加	加率		指標の求め方:	(当該年度総乳量	/当該年度飼養頭	i数)/(令和3st	F度総乳量(1,958	8t) /令和3年度	飼養頭数(351頭)	)×100 ※令和	13年度は(令和:	元年度総乳量(1,	312t) /令和元年
					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
	Т	活動指標	1 計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)		(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		п п
	指	(単位/		149		236			100	100		100	100	100	100		
	標	成果指標		100	·{	100		100	100	100		100	100	100	100		
	-	(単位/9	八根框	122	131	141											
		事業の達 (活動指標 事業の成	標をもとに評価)				達成されている										
		(成果指	標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の対(事業費)	率性  に対する成果)				変わらない										
		総合評価	5	4-015	4 = 0 Is	v Is	良好である	v Is	4 7 0 IS	0 IS	alou bles ZITI - L	v Is	<b>.</b>	+ = 0 K	4 = 0.15	dol blet TITI d	
事	評価内容		総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	の乳量が維持階級ない。 が推済を強い、 の経なると考え をなると考え 。	自乳のれ家滅らる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の乳量が維持されており、酪素の経費負担軽 減となることか	され、乳牛1頭 当たりの乳量も ほぼ維持されて	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	<b>う</b> 向性				現状のまま継続										
	改善	性の判断 、改革の 、R8、R10	内容		■ 乳牛1頭当たりの つながっていると 。		生乳生産性の高	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	家畜診療助成	事業			事業期間	平成	13年度 ~ -	- 年度					1	<u></u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-4	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	北海道農業共済終しつつ適切な家習		軍営経費の一部	<del>-</del> を負担することによ	り、畜産農家	の事業負担を軽減	手段 (どのような方法で 実現するのか)	北海道中央農業共	<b>共済組合が実施す</b>	る家畜診療事業の	)運営費の一部を関	関係市町と連携を	図り補助する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	北海道農業共済組	且合						成果 (どのような効果が 得られるのか)	畜産農家の家畜記	<b>診療事業に対する</b>	負担の軽減が図ら	っれ、適正な家畜 <i>0</i>	)受診機会が確保	できる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	各市町村が行って	ていた水稲、果樹等	テレジョン (京本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	*生時における共済	事業が広域化る	され、中空知農業ま	・済組合に統合・合	併した際に家畜詞	  参療部門も引き継	がれ、これに伴う	運営経費として負	負担していくことに	こなった。

## [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	— A	设 財 源	計画額	270, 000			810, 000	270, 000	270, 000	270, 000		270, 000	270, 000	270, 000	270, 000	1, 080, 000	2, 700, 000
<i>t</i> =			予算計上額	270, 000			810, 000	270, 000			270, 000					0	1, 080, 000
15			実 績 額	270, 000	270, 000		810, 000				0					0	810, 000
事	事業	費合計		270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	270, 000	270, 000	270, 000	270, 000	1, 080, 000	2, 700, 000
.114			予算計上額	270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	270, 000	0	0	270, 000	0	0	0	0	0	1, 080, 000
業			実 績 額	270, 000	270, 000	270, 000	810, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	810, 000
費				補助金 270千 円	補助金 270千 円	補助金 270千 円		補助金 270千 円									
の	<b>事</b> 業	費予算の 内容															
推		712															
				前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額									
移	0	度予算と D比較 減理由)															
				同額	同額	同額											
	実績(増	との比較 減理由)															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※活動・成果指標に結びつかないため指標をなしとする。
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※活動・成果指標に結びつかないため指標をなしとする。

						笠 1 次字技	のも左趾両			笠のを守ち					第3次実施4力年	土庙		
				ŀ	第1年次	第 2 年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	宝佐 4 九 左	第 7 期総合計画
					第 1 年次 (3年度)	(4年度)	(5年度)	美施3万年合計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	長施3万年 計	第 / 平次 (9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	実施4カ年 合 計	合計
		活動指標	1 計i	画値	(0+12)	(1+12/	(0+1)2/		(-1,2)	(1+12)	(0+1)2/		(0+/2/	(10+12/	(11+12)	(12+12)		
	指	(単位/	. <u>5</u>	一 績値														
	標	成果指標		画値														
		(単位/	) 実	績値														
		事業の達 (活動指標	成度 票をもとに評	平価)														
		事業の成 (成果指標	果悪をもとに評	平価)														
		事業の効(事業費に	率性 こ対する成果	具)														
		総合評価						普通である										
事務事業評価	評価内容	3	総合評価のは理由また値に の実績値に る自己分析	判指関が開発する。	を農実療る畜負らにらの異雑の事との共主業と農の経す効い、済るをに実軽営ると、の減のこ考えの経す効のであると、の減のこそのがなどがあると、質のは、質のでは、質のでは、質のでは、質のでは、質のでは、質のでは、	を農実療る畜負らの業施事こ産担れます業と農の経済るを支よの経済を支よの経済を変えの経済を変えの経済を表していません。	自近を農実療る畜負らにらる自近を農実療る畜負らにらるでいる。というでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないでは、まないではないではないではないでは、まないではないではないではないではないではないではないではないでは、まないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	を農実療る畜負らいます。大きない、海るをは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	问性		DE .			現状のまま継続	DO .				D10 -					
	改善、	生の判断理 改革の内 R8、R10	内容	1	負担の軽減が図ら	園正な家畜の受診られ経営の安定に ける事業と考える	機会が確保でき、 つながっていると 。	畜産農家の経費 判断でき、今後	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	有害鳥獸駆除	等委託事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度				•	ı	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	鳥獣から農地を守	するとともに、農業	業被害の軽減を図る		•			手段 (どのような方法で 実現するのか)	猟友会砂川支部码	沙川部会に委託し	、農地等における	鳥獣を銃器や箱れ	っな等により捕獲、	駆除を実施する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の農地等に出	出没するカラス、:	シカ、アライグマ、	キツネ等の有	書鳥獣			成果 (どのような効果が 得られるのか)	農業者の営農意欲	欧の向上や農作物	被害の解消又は軽	滅が図れる。		
事業開始時の状況 緯					5止や軽減を目的と ノ、有害鳥獣駆除事			ている。						

## [DO]

実績

			第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	- 画		第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国 費	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
	計画額				0				0					0	0
12	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
入その他	計画額				0				0					0	0
<b>Z</b>	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
10.0	計画額	786, 000	786, 000		2, 358, 000	786, 000	786, 000	786, 000	, ,	786, 000	786, 000	786, 000	786, 000	3, 144, 000	7, 860, 000
_	予算計上額	786, 000	786, 000		2, 358, 000	786, 000			786, 000					0	3, 144, 000
	実績額	786, 000	786, 000		2, 358, 000				0					0	2, 358, 000
<b>#</b>	計画額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	786, 000	786, 000	786, 000	3, 144, 000	7, 860, 000
	予算計上額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	786, 000	0	0	786, 000	0	0	0	0	0	3, 144, 000
業	実績額	786, 000	786, 000	786, 000	2, 358, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2, 358, 000
費		委託料 786千	委託料 786千	委託料 786千		委託料 786千									
事業費予算の		п	п	н		П									
の一内容															
144															
推		前年度と同額	前年度と同額	前年度と同額		前年度と同額									
移一一		削牛皮 こ 円銀	削牛及こ内領	削牛皮と内領		別十段と问録									
前年度予算との比較															
(増減理由)															
		同額	同額	同額											
実績との比較															
(増減理由)															
						l .									

	the tree			I	45 / No 1 \ - m		Literature - to a f	*									
_		(「手段」をもる		指標名:有害鳥兽			指標の求め方:コ										
成果	指標1	(「成果」をもる	とに設定)	指標名:有害鳥兽	<b>獣による農業被害</b>	率	指標の求め方:当	<b>á該年度農業被害</b>	額/令和3年度の	農業被害額(4,8	361千円)×100	※令和3年度は令	和元年度の農業被	[害額 (5,711千円]	)と比較		
					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1	計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
	指	(単位/%)	実績値	70	64	100											
	標	成果指標 1	計画値	95	95	95		90	90	90	)	85	85	85	85		
		(単位/%)	実績値	85	39	161											
		事業の達成度					あまり達成されていない										
		(活動指標をも	らとに評価)														
		事業の成果 (成果指標をも	・レノー = ホ/エ)				上がっている										
		事業の効率性(事業費に対す					少し上がっている										
		総合評価	J.,,,,,				良好である										
		からロロゴ川		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
						当該事業は、銃		B C 7 1/1 .	1 L J 1/1 .		刊刷经田.	B C 7 1/1 .	1 L J 1/1 .	1 C 7 W .	66777	刊刷建田.	
				器使用ができる	器使用ができる	器使用ができる	や気象により有										
				地元猟及芸に安 許することが一	地元猟及芸に安	地元猟友会に委 託することが一	舌馬獣の発生状況等は不確定要										
				番効果的であ	番効果的であ	番効果的であ る。当該委託と	素であるが、前										
				る。当該委託と	る。当該委託と	る。当該委託と	年より農業被害										
事				国の緊忌拥獲事 業と組み合わせ	当の緊忌捕獲事業と組み合わせ	国の緊急捕獲事 業と組み合わせ	額は減少してい るため良好と判										
7	評			て駆除は実施さ	て駆除は実施さ	て駆除は実施さ											
	価				れているが、予												
務	内			1.ても、鳥獣は	算の範囲で駆除 しても、鳥獣は	1.ても、鳥獣は											
	容	総合	評価の判断	大きく減小して	大きく減小して	大きく減小して											
事		理由	または指標	いない。また、銃器による駆除	いない。また、	いない。また、											
7		の実	績値に関す 己分析	就器による駆除 ができない箇所	就器による駆除 ができない箇所	就器による駆除 ができない箇所											
		% В	L /J 171	での被害報告も	での被害報告も	での被害報告も											
業					寄せられている												
				ので、対策を講 じる必要があ	ので、対策を講 じる必要があ	じる必要があ											
評				る。	る。	る。											
価																	
ТШ																	
		今後の方向性					現状のまま継続										
				R5 :				R8 :			1	R10 :				II.	
				生態系の頂点であ		駆除しなければー						[,					
						業被害もより一層											
				が上がっているこ	ことから継続する	事業と考える。今	後は、高齢化が										
		生の判断理由				厳しい状況となっ	てきているた										
	改善、	改革の内容		め、その対策もネ	ちんていく必要が	ගර.						1					
	(R5.	K8, K10)										1					
												1					
												1					
												1					
	改善、			然環境に悪影響でが懸念される。対ることが一番からが上がっているこ 進み限られた人員	を及ぼし、農業林 対策として、銃器 果的であり、捕獲 ことから継続する	業被害もより一層 使用が数ときる地害の地害 事業と考えるを が数えるとなった。 なるなった。	深刻化すること 猟友会に委託す 積はともに効果 後は、高齢化が										

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	有害鳥獸対策	連絡協議会支	泛援事業		事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度				•		<u>'</u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
	有害鳥獣対策連絡被害の軽減を図る		ることにより、地	域住民の生活環境	- 竟保全及び安全確保	<b>呆ならびに鳥獣</b>	から農地を守り、	手段 (どのような方法で 実現するのか)	有害鳥獸対策連絡	各協議会に対し、	事業に係る経費の	)一部を補助する。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市、奈井江町 改良普及センター	可、新砂川農業協 一、農業者の代表	同組合、そらち森 で構成する有害鳥	林組合、北海道¾ 獣対策連絡協議:	鼡友会砂川支部、研 会	少川警察署、農	業共済組合、農業	成果 (どのような効果が 得られるのか)	円滑に事業が実施	色されるとともに	、農作物被害等の	)解消又は軽減が図	<b>□られる</b> 。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
	第1年次(3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画				0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
道 費計画				0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
地 方 債 計 画				0				0					0	0
投予算計上	額			0				0					0	0
実績				0				0					0	0
入その他計画	額			0				0					0	0
予算計上				0				0					0	0
<b>美</b>				0				0					0	0
れ 一般財源 計画	,				21, 000	21, 000	21, 000		21, 000	21, 000	21, 000	21, 000	84, 000	231, 000
予算計上				83, 000	21, 000			21, 000					0	104, 000
た実績	.,	770	1, 430	4, 125				0					0	4, 125
事業費合計 計 画		28, 000	28, 000	84, 000	21, 000	21, 000	21, 000	63, 000	21, 000	21, 000	21, 000	21, 000	84, 000	231, 000
予算計上		28, 000	27, 000	83, 000	21, 000	0	0	21, 000	0	0	0	0	0	104, 000
業 実績				4, 125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4, 125
費	補助金 28千円	補助金 28千円	補助金 27千円		補助金 21千円									
事業費予算の														
の一内容														
1//-														
推	前年度と同額	前年度と同額	手数料補助件数		手数料補助件数									
移 4 4 4 7 1 1	削牛及ご问領	削平及と问領	の見直しにより		テ数科補助件数 の見直しにより									
前年度予算との比較			減		減									
(増減理由)														
	狩猟免許試験予	狩猟免許試験予	狩猟免許試験予										ľ	
実績との比較	備講習受講者が	備講習受講者が	備講習受講者が											
美根との比較   (増減理由)	減少したため	いなかったため	いなかったため											
		1	<u>i</u>		<u> </u>			II .		l				

781	乗り推	移・評価															
活	動指標	1(「手段」をも	とに設定)	指標名:有害鳥	獣(エゾシカ) の馬	区除率	指標の求め方:コ	⊏ゾシカ駆除頭数	/エゾシカ駆除体	₹頼頭数×100							
成:	果指標	1 (「成果」をも	とに設定)	指標名:有害鳥	獣による農業被害	率	指標の求め方:当	当該年度農業被害	額/令和3年度の	)農業被害額 (4,8	61千円)×100	※令和3年度は令	和元年度の農業被	客害額(5,711千円	)と比較		
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	_		1 4 1	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	Ta at
	#5	活動指標 1 (単位/%)	計画値実績値	100 70		100 100		100	100	100		100	100	100	100		4
	指標	成果指標 1	計画値	95				90	90	90		85	85	85	85		
		(単位/%)	実績値	85								1			<u>-</u>		
		事業の達成					あまり達成されていない										
		(活動指標を事業の成果	もとに評価)													-	
		(成果指標を	もとに評価)				上がっている										
		事業の効率に対					少し上がっている										
		総合評価					普通である										
事務事業訊価	評価内容	理師の別	hまたは指標	の市す外でら営あ費業取備で得るのよ、にこる2分かを実を権対数外のでの当り、こののののののののののののののののののののののののののののののののののの	の1事業を補対数料 の事業分と手とを がかのました。 がある、にるの手を がない。 がでら営め表がは、の音がは、の音がは、の音がは、の音がは、の音がは、の音がは、の音がは、の音	ある。なお、国 費が2分の1の事 業は、かたの 構 で 機 で 料 の 料 の 料 の 料 の 料 の 料 の 料 の れ い た の れ い の れ い の れ い の れ い の れ い れ に の れ 、 的 の れ に の れ に の れ に る に る に る と る に る と る と る と て と る と る と る と る と る と る と	許取得に係る費 用の軽減と協議 会の運営事務費	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	生				現状のまま継続										
	改善	今後の方向性 R5: 増加傾向にある有害鳥獣被害防止のために、砂川市と 域で協議会を設置して対応しているが、実際の駆除実 許所持者であり、その確保が必要である。また、免許 化により担い手の減少に歯止めをかけるため、新規免 やすことも重要である。 、改革の内容 、R8、R10)					実施者は狩猟免 許所持者の高齢	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	狩猟免許取得	助成事業			事業期間	平成	24年度 ~ —	- 年度				•		
事業性質区分				建設外	第7期総合計画の位置付け	4-1-5	他に関連する 基本事業						所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	ハンターの担い	もに、有害鳥獣の	駆除により農作	- 勿等の被害防止の仮	産進を図る。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	狩猟免許を新たに	こ取得した者に対	し、試験手数料を	補助する。			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に住所を有し	し市税の滞納がな	く、狩猟免許を新	たに取得する者。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	有害鳥獣を銃器や は軽減が図れる。	や箱わな等により	捕獲、駆除が実施	iされることにより	り、農業者の営農	意欲の向上や農作物被害の解消又
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

		第1次実施	13 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計 画 額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額	37, 000				16, 000	16, 000	16, 000		16, 000	16, 000	16, 000	16, 000	64, 000	223, 000
予算計上額	37, 000	42, 000	42, 000	121, 000	16, 000			16, 000					0	137, 000
た実績額	0	0	0	0				0					0	0
事 事業費合計 計 画 額	37, 000	37, 000	37, 000	111, 000	16, 000	16, 000	16, 000	48, 000	16, 000	16, 000	16, 000	16, 000	64, 000	223, 000
予算計上額	37, 000	42, 000	42, 000	121, 000	16, 000	0	0	16, 000	0	0	0	0	0	137, 000
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費	補助金 37千円	補助金 42千円	補助金 42千円		補助金 16千円									
事業費予算の														
の「内容」														
1//-														
推	前年度と同額	対象者の増	前年度と同額		狩猟免許取得予				<u> </u>					
移	別午及こ内領	対象句の垣	別十及こ四領		定見込者の減に									
前年度予算との比較					よる減額									
(増減理由)														
	狩猟免許取得希	狩猟免許取得希	狩猟免許取得希	1										
実績との比較	望者がいなかっ	望者がいなかっ	望者がいなかっ											
(増減理由)	たため	たため	たため											

18	保い作	移・評1	IMI														
活	動指標	1 (「手	段」をもとに設定)	指標名:狩猟免	許取得者数		指標の求め方:狩	守猟免許取得者数	t								
成	果指標	1 (「成	果」をもとに設定)	指標名:狩猟免	許新規取得者率		指標の求め方:令	3 年度以降符	猟免許取得者数/	′当該年度 北海	道猟友会砂川支部	砂川部会会員数×	100				
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	13 力年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画
	1	活動拍	指標 1 計画値	(3年度)	(4年長)	(3年度)	н	(0年度)	(7年度)	(0年度)	7	(9年度)	(10年度)	(日年長)	7 (12年度)	1 11	
	指		立/人) 実績値	0	0	0			·		<u>,                                     </u>	<b></b>	·		<u></u>		
	標	成果排	指標 1 計画値	15	15	15			5		5	5	5	į	5 5		
			立/%) 実績値	0	9	9											
			の達成度  指標をもとに評価)				あまり達成されていない										
			の成果 指標をもとに評価)				変わらない										
		事業の	の効率性 費に対する成果)				変わらない										
		総合語	 評価				普通である										
事 秀 事 第 后	評価内容		総合評価の判断 理由ま値に関す の実の る自己分析	増りすが出いています。 増りする はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな はいまな	欠。本年度は対 象者がいなかっ たが、農作物被 害の防止につな	増りすうな物は が、るが、 が、 を が、 を が に に が に が に が が た か が を か が を か が を か が を か が を か が を ま が 、 を も 、 き も 、 も 、 も 、 も 、 し と も 、 も 、 と も 、 と も 、 と も 、 と も 、 と も 、 と も 、 と も と も	の高いは いよう の、いる で いる で を いる を り で 数 活 に り で り で り で り で り で り り り り り り り り り	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後0	 の方向性				現状のまま継続										
				R5 :			3. 3. 4. 4.	R8 :			ı	R10 :				II	
				増加傾向にあるだが必要である。 減少に伴い、歯」	有害鳥獣被害防止 しかし、免許所持 止めをかけるため の継承と被害防止	者が高齢化である 、新規免許取得者	事から担い手の を増やすことに										
	改善	性の判   、改革           	の内容														

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	多面機能支払	交付金事業			事業期間	平成1	9年度 ~	令和5年度	]			•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連す 基本事業	る					所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	農業・農村の有る理を推進すること	る多面的機能のことにより、農業・	維持・発揮を図る 農村の有する多面	ための地域の共 的機能が今後と	- 司活動に係る支援を も適切に維持・発揮	そ行い、地域資源 でいるように	源の適切な保全 する。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	あらかじめ作成	した活動計画に基	づき実施した活動	かに対してその費用	月を支援する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)			約などを整備し、 地、豊沼、焼山、		道の協議会の採択を ・鶉)	そ受けた活動組織	織を対象とする			設の適正な維持管 の解消が図られる		(生態系や景観)等	<b>等の保全が図られ</b>	るとともに、生産性の高い農業の
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成19年度から <sup>3</sup> 平成24年度からに	平成23年度まで5st は第2期対策の初st	∓間、7集落で∛ ∓度を迎えたが、	『業が実施された。 交付金単価の減額	と中山間地域等	<b>等直接支払交</b> 付	金事業の対象農用地技	太大により、活動さ	を実施する集落が	4 集落に減少した	ō		

## [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額	12, 806, 000	12, 806, 000	12, 806, 000	38, 418, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	45, 573, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	15, 191, 000	60, 764, 000	144, 755, 000
			予算計上額	12, 927, 000	13, 015, 000	15, 191, 000	41, 133, 000	15, 191, 000			15, 191, 000					0	56, 324, 000
			実績額	12, 919, 571	13, 018, 026	15, 191, 803	41, 129, 400				0					0	41, 129, 400
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
_			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
<b>≥</b>			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	— 船	段 財 源	計画額	4, 270, 000	4, 270, 000	4, 270, 000	12, 810, 000	5, 025, 000	5, 025, 000	5, 025, 000	15, 075, 000	5, 025, 000	5, 025, 000	5, 025, 000	5, 025, 000	20, 100, 000	47, 985, 000
+.			予算計上額	4, 269, 000	4, 300, 000	5, 025, 000	13, 594, 000	5, 025, 000			5, 025, 000					0	18, 619, 000
た			実績額	4, 276, 429	4, 299, 346	5, 023, 939	13, 599, 714				0					0	13, 599, 714
事	事 業	費合計	計画額	17, 076, 000	17, 076, 000	17, 076, 000	51, 228, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	60, 648, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	20, 216, 000	80, 864, 000	192, 740, 000
			予算計上額	17, 196, 000	17, 315, 000	20, 216, 000	54, 727, 000	20, 216, 000	0	0	20, 216, 000	0	0	0	0	0	74, 943, 000
業			実績額	17, 196, 000	17, 317, 372	20, 215, 742	54, 729, 114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54, 729, 114
費の推		費予算の 内容		旅費 20千円 需用費 83千円 役務費 10千円 使用料 7千円 交付金 17,076千円	使用料 7千円	旅費 20千円 需用費 82千円 役務費 10千円 使用料 8千円 交付金 20,096千円		旅費 20千円 需用費 82千円 役務費 10千円 使用料 8千円 交付金 20,096千円									
移	0	度予算と )比較 減理由)		対象農地の増	対象農地の増	対象農地の増		同額									
	実績の増え	との比較 減理由)		対象農地の減	対象農地の増	執行残											

活動指標	票 1	(「手段」をもと	:に設定)	指標名:事業費	率		指標の求め方:当	<b>á該年度交付金額</b>	i/令和3年度交付	額(17,196千円)	×100 ※令和3	3年度は令和元年度	交付額(16,644=	千円)×100と比較	E		
成果指标	票 1	(「成果」をもと	:に設定)	指標名:対象農用	用地比率		指標の求め方:当	4該年度交付対象	面積/当該年度全	耕地面積(作物約	統計調査) ×100						
					第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	103		103		103	103	103		103	103	103	103		
1 村	-	(単位/%)	実績値 計画値	103 35				35	35	35		35	35	35	35		
	,	成果指標 1 (単位/%)	計画他 実績値	35		{		00	30	J.		30	JU	30	JU		
		事業の達成度 (活動指標をも	, , , , , , ,				達成されている										
	Infli	事業の成果 (成果指標をも					変わらない				<u> </u>						
		事業の効率性 (事業費に対す					変わらない										
	1	総合評価					普通である										
務	西	の実		化り下なる該農面さ持i旅 ・集懸い、同業・機、理格 ・大きな、大きい、同業・機、理格 ・大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きなな、大きなない。 ・大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、	自農化リアなる該農面さ持り消る 分集高落懸、同業・機、理休宮 分集高落懸、同業・機、理休宮 の場にのでは、 の場にのでは、 の場にのでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	化り下なる該農面さ持i旅 、集落懸、同業・機、理格 ・機なき落動技術を進ん ・大きのであるな典 ・大きのであるな典 ・大きのであるな典 ・大きのであるな典 ・大きのであるな典 ・大きのである。 ・大きのできる。 ・大きるできる。 ・大きるできる。 ・大きるできる。 ・大きるできる。 ・大きるできる。 ・大きるできる。 ・大きるできる。 ・たるできるできる。 ・たるできるできる。 ・大きるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるでき	はであ全のいて を な で あ を の は い の も の は い の は い の は の は の は の は の は の は の は の は の は の が な 活 の の ま は の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	1	今後の方向性					現状のまま継続				l						
改	善、	-の判断理由 改革の内容 R8、R10)		り、農地・農業所 草刈りや泥上げ、 の管理や農村環境	高齢化の進行に伴に 用水路等の資源に 、農道の砂利補充 境の向上を図る 表 ることから、継続	ついて活動組織な など、農地・水路 同活動を支援する	どが行う水路の 発等の資源の日常 ことで適切な保	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	環境保全型農	ł <b>業直接支払</b> 交	を付金事業		事業期間	平成	23年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-5	他に関連する 基本事業	2-3-1					所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	自然環境の保全にる支援を行うこと	こ資する農業の生 とで、農業の持続	産方式を導入した 的発展と農業の有	農業生産活動のする多面的機能	- 実施を推進する事業 の発揮を促進する。	美を実施する農	業者団体等に対す	手段 (どのような方法で 実現するのか)	取組農地面積に原	芯じ、取り組みに	係る経費の一部を	交付金として交付	けする。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	有機農業や化学服	巴料・化学合成農	薬を半減させる取	り組み等を実施	する農業者団体			成果 (どのような効果が 得られるのか)	が図られる。		発揮させることに 業者の負担軽減が		ける農地、水、環境	竟の良好な保全と質的向上の促進
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額	2, 998, 000	2, 998, 000	2, 998, 000	8, 994, 000	3, 188, 000	3, 188, 000	3, 188, 000	9, 564, 000	3, 188, 000	3, 188, 000	3, 188, 000	3, 188, 000	12, 752, 000	31, 310, 000
			予算計上額	2, 999, 000	2, 680, 000	2, 955, 000	8, 634, 000	3, 188, 000			3, 188, 000					0	11, 822, 000
			実 績 額	2, 299, 950	2, 548, 350	2, 760, 750	7, 609, 050				0					0	7, 609, 050
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	_	般 財 源	計画額	1, 001, 000	1, 001, 000	1, 001, 000	3, 003, 000	1, 064, 000	1, 064, 000	1, 064, 000	3, 192, 000	1, 064, 000	1, 064, 000	1, 064, 000	1, 064, 000	4, 256, 000	10, 451, 000
4			予算計上額	1, 000, 000	894, 000	986, 000	2, 880, 000	1, 064, 000			1, 064, 000					0	3, 944, 000
た			実 績 額	766, 650	849, 450	920, 250	2, 536, 350				0					0	2, 536, 350
事	事	業費合計	計画額	3, 999, 000	3, 999, 000	3, 999, 000	11, 997, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	12, 756, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	4, 252, 000	17, 008, 000	41, 761, 000
			予算計上額	3, 999, 000	3, 574, 000	3, 941, 000	11, 514, 000	4, 252, 000	0	0	4, 252, 000	0	0	0	0	0	15, 766, 000
業			実 績 額	3, 066, 600	3, 397, 800	3, 681, 000	10, 145, 400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10, 145, 400
費				交付金 3,999千円	交付金 3,574千円	交付金 3,941千円		交付金 4,252千円									
0	事第	業費予算の															
推		内容															
移				対象農地の増	対象農地の減	対象農地の増		対象農地の増									
移		F度予算と の比較 曽減理由)															
	実約(均	責との比較 曽減理由)		対象農地の減	対象農地の減	対象農地の減											

推	標の推	移・評	評価															
活	動指標	1 (	「手段」をもとに	こ設定)	指標名:事業取締	組農家数比率		指標の求め方: 事	<b>『業取組農家数/</b>	令和3年度事業取	(組農家数(13名)>	× 100						
成	果指標	1 ( [	「成果」をもとに	こ設定)	指標名:当該年原	度交付対象面積率		指標の求め方:ダ	ξ付対象面積/2	020農業センサ	ス販売農家経営配	面積(1,088ha)×	100					
							3 カ年計画				3 力年計画				3次実施4カ年計			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動	動指標 1	計画値	100		100		100				100	100年度)	100	100		
	指標	(単	单位/%)	実績値	100	108	108											
	标	八米	果指標 1 単位/%)	計画値実績値	6 5	6 <sub>1</sub>	6		6	6	6		6	6	6	6		
		事業	業の達成度 動指標をもと			,		達成されている										
		事業	業の成果 こ果指標をもと					変わらない										
		事業	業の効率性					変わらない										
		_	業費に対する 合評価	る成果)				普通である				<u> </u>						
and the first	事務事業評価		総合評ま	価の判断標 に関す	や全いり援農環ーに対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	自地や全いり援農るをる当負れでは採生等営組す業環ーこ該担い、化様果動家との全環でにが。 に代様果動家との全球でにが。 は保護のでは、 いん はいい はいい はい  や全いり援農るをる当生等営組す業環一こ該物に農むる分境層と揮撃場でに農むる分境層と揮でにといるが境層とが乗りませる。	判交計で組模球生等営組に 理対値な家に張多効あり防性面い 課をい数あり防性の で家に暖多効活農数の が活農なで はし取加地や全いり援い はし取加地や全いり援い	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
		今後	──── 後の方向性					現状のまま継続										
	改善	<b>唐、改</b> 革	判断理由 革の内容 、R10)		にあり、地球温明	計画値を達成して、環化防止や生物多様の支援として効果は	様性保全等に効果	と家数は増加傾向 との高い営農活動	R8 :				R10 :					

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	公的分収林整	備推進事業			事業期間	平成	5年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-6	他に関連する 基本事業	2-3-1	2-6-3				所管課係	農政課農政係
目的 (何のために実施するのか)	砂川市森林整備 源のかん養や多面	事業計画に基づき 面的機能の発揮な	、計画的に分収林 どを主体とした公	契約を締結し、 益的機能の維持I	・ 植栽、下刈、除間伐 につなげる。	<b>え等の整備を図</b>	り、森林の持つ水	手段 (どのような方法で 実現するのか)	森林所有者と公 する。	的分収造林委託契	約を締結のうえ、	森林整備(植栽、	下刈、除間伐等	)を国及び道の補助を受けて実施
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の公的分収道	<b>並林契約を締結し</b>	た森林及びその所	有者				成果 (どのような効果が 得られるのか)						
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	経済的に森林整修 植栽は平成5~1	備が困難な森林所存 2年度(平成8年ឭ	百者と市が分収ね ほは除く)、下メ	林契約(契約期間50 川は平成 6 ~16年度	年)を締結す 、除間伐は平	ることで、所有者に 成16年度以降適期に	任わって森林整備 実施している。	を進め、将来的	にその材に対する	収益を一定の比率	:(市:6、所有者	旨:4)で分ける。	,

## [DO]

実績

			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年合計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年合計	第 7 期 総合計画 合 計
		(3年度)	(4年度)	(5年度)	i at	(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	Ti at	п п
国 費 計画					0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
	積額 画額				0		1 107 000	1 107 000	0 014 000	1 107 000	1 401 000			0 500 000	4 700 000
	計上額				0		1, 107, 000	1, 107, 000	2, 214, 000	1, 107, 000	1, 461, 000			2, 568, 000	4, 782, 000
	積 額				0				0					0	0
					0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
12	積 額				0				0					0	0
入その他計画					0		641, 000	641, 000	1, 282, 000	641, 000	846, 000			1, 487, 000	2, 769, 000
	計上額				0		041, 000	041, 000	1, 202, 000	041, 000	640, 000			1, 467, 000	2, 769, 000
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額	0	0	0	0	0	1, 748, 000	1, 748, 000	3, 496, 000	1, 748, 000	2, 307, 000	0	0	4, 055, 000	7, 551, 000
	計上額	0	0	0	0	0	0	0	0, 100, 000	0	0	0	0	0	0
	績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	_				-	_	_	_	-		_		
費															
事業費予算の内容															
.,,,															
推															
移		事業実施予定面 責の減	前年度と同額	前年度と同額											
	15	良りが成													
の比較 (増減理由)															
(增加生田)															
<b>ウ</b> 徒 L の U * * *															
実績との比較 (増減理由)															
(31,000)															

Ħ	標の	推移	・評価															
_			(「手段」をもと		指標名:除間伐	施業面積比率				伐施業面積累計/								
F <sub>2</sub>	<b></b> 大果指	<b>i標 1</b>	(「成果」をもと	に設定)	指標名:			指標の求め方:月	成果指標の設定が	「困難であることか								
							63力年計画		tota e tarata		1000年計画	T		_	3次実施4力年記		1	第 7 期
					第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次(10年度)	第9年次(11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
			活動指標 1	計画値	(0中度)	(千尺)	(0年度)		-	· (/干及)	- (0平度)	-	(3年度)	- (10年度)	- (11年度)	(12年度)	-	
		指揮	(単位/%)	実績値	C	C	0											
		標	成果指標 1 (単位/ )	計画値実績値													_	
	Ī		事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)														
			事業の成果															
			(成果指標をも事業の効率性	<b>とに計加</b> )													-	
			事業費に対す	る成果)														
			総合評価			4 = 0 K	4 - 0 K	普通である	4 7 0 K	4 = 0.15	4 - 0 K	dut ble TTT	4 7 0 10	4 = 0.15	4 = 0.15	4 = 0.15	aluther 700 d	
		評価内			自己分析: 同労を行う適 間状ではなれた め、事業未実 施。	自己分析: 目代等を行う適 間規ではないた め、事業未実 施。	自己分析: 同伐等を行う適 間規ではかた め、事業未実 施。	に が あ 度 か し い た 実 た 定 を 来 が 期 行 、 実 た 定 を 来 れ ら う の 、 等 た に が め う の に 。 が り う に 。 的 ら う に 。 に う に 。 に う に 。 に う に 。 に う に 。 ら 。 ら 。 ら る と う る と 。 ら る と う と う と う と う と う と う と う と う と う と	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		容	総合調理由	平価の判断 または指標	Ī			断した。										
	事		の実績	たたは田保 責値に関す 己分析	-													
	業																	
	評																	
	価																	
			今後の方向性					現状のまま継続										
	H		7 後の万円正		R5 :			ジャ 人の み み 神正明	R8 :				R10 :				1	
					源のかん養や多	面的機能の発揮な	が進められており どを主体とした公 続する事業と考え	公益的機能の維持										
	ī	汝善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)															

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	豊かな森づく	り推進事業			事業期間	平成2	3年度 ~	令和12年度	]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-6	他に関連する 基本事業	2-3-1	2-6-3				所管課係	農政課農政係
	伐採後の確実な材 循環利用と造林			ることにより、	- 森林所有者の負担収	<b>経滅を図るとと</b>	もに、森林資源	(どのような方法で	道⇒100分の16、			率を上乗せし支援 よる。	する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	森林経営計画を3	立てた者で、造林	(植林)を行おう	とする森林所有	者			成果 (どのような効果が 得られるのか)	森林の有する多	面的機能の確保が	図られるとともに	こ、森林経営・管理	里における森林所	有者の負担軽減が図られる。
事業開始時の状況 緯					推進事業」が10年目 は事業が創設された		2年度で終了とプ	より、平成23年度より	未来につなぐ森っ	づくり推進事業が	創設。この事業が	《令和2年度で終了	となり、令和3年原	度より地球温暖化防止や森林・林業

## [DO]

実績

				第 1 次実施 3 カ年計画					第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額	1, 843, 000	1, 843, 000	1, 843, 000	5, 529, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	3, 309, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	1, 103, 000	4, 412, 000	13, 250, 000
			予算計上額	1, 843, 000	1, 478, 000	1, 643, 000	4, 964, 000	1, 103, 000			1, 103, 000					0	6, 067, 000
			実績額	1, 434, 891	1, 166, 011	1, 285, 383	3, 886, 285				0					0	3, 886, 285
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹ e			予算計上額				0				0					0	0
٠			実績額				0				0					0	0
れ	— 般	段 財 源	計画額	1, 152, 000	1, 152, 000	1, 152, 000	3, 456, 000	690, 000	690, 000	690, 000	2, 070, 000	690, 000	690, 000	690, 000	690, 000	2, 760, 000	8, 286, 000
_			予算計上額	1, 152, 000	924, 000	1, 028, 000	3, 104, 000	690, 000			690, 000					0	3, 794, 000
た			実績額	896, 817	728, 772	805, 773	2, 431, 362				0					0	2, 431, 362
事	事業	費合計	計画額	2, 995, 000	2, 995, 000	2, 995, 000	8, 985, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	5, 379, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	1, 793, 000	7, 172, 000	21, 536, 000
			予算計上額	2, 995, 000	2, 402, 000	2, 671, 000	8, 068, 000	1, 793, 000	0	0	1, 793, 000	0	0	0	0	0	9, 861, 000
業			実績額	2, 331, 708	1, 894, 783	2, 091, 156	6, 317, 647	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6, 317, 647
費				補助金 2,995千円	補助金 2,402千円	補助金 2,671千円		補助金 1,793千円									
o	事業費	費予算の 内容															
推				\# 11 <del>    = +</del> 1	\# 11 <del>         </del>	\#     <del>                                 </del>		\#     <del>         </del>									
移	の	度予算と )比較 咸理由)		造林申請による 事業量の減		造林甲請による 事業量の増		造林申請による 事業量の減									
	実績 と (増減	との比較 咸理由)		事業量の減少に よる減額	事業量の減少に よる減額	事業量の減少に よる減額											

推	標の	推移	・評価																
活	動指	漂 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:補助金額	領比率		指標の求め方:	当該年度補助金額	[/令和3年度補助	b金額(2,331千円)	※令和3年度は	は令和元年度補助₫	を額(4,722千円) と	比較				
成	果指	漂 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:施業面和	責(造林)比率		指標の求め方:	当該年度施業面積	[/令和3年度施業	<b>首面積(11.06ha)</b>	※令和3年度に	は令和元年度施業の	面積(21.54ha)と	比較				
						第1次実施	103カ年計画	第2次実施3カ年計画						第3次実施4カ年計画					
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計	
			5動指標 1	計画値	63				90	90	90		90	90	90	90			
			(単位/%) 大果指標 1	実績値計画値	49 59				100	100	100		100	100	100	100			
			《未指標 I (単位/%)	実績値	50	.{			100	100	100			100	100	100			
			事業の達成度 活動指標をも	とに評価)				あまり達成されていない											
			業業の成果 成果指標をも	とに評価)				あまり上がってい ない											
		耳	事業の効率性 事業費に対す					変わらない											
		-	*合評価	<u> </u>				普通である				1							
tall that then	答	評価 內容	総理由 記述	平価の判断標 たたは指標 責値に関す 3分析	多面的機能を保 全すであり、に 重要助所所有者 り森林所有者の 負担軽減にもな	林)面を は、機たあ事所に は、機たあ事所に は、性の は、機たあ事所に は、に 者も は、に 者もな	林)面す要は は的るで 事所減軽 を を 主 を は的るで の は 的るで り い は 的る で り は 的 る で り の り の り の り の り の り に り に り に り に し に り に に に に に に に に に	判指では、	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
		4	<b>今後の方向性</b>					現状のまま継続											
	改	善、i	の判断理由 改革の内容 R8、R10)		後の確実な植林る 該事業により、森	を支援するには所	・の多面的機能の保 有者の負担が大き軽減が図られ造林 る事業と考える。	いことから、当	R8 :				R10 :						

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	森林経営管理	事業			事業期間	令和	元年度 ~ -	— 年度					1	<u> </u>		
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-1-6	他に関連する 基本事業	2-3-1	2-6-3				所管課係	農政課農政係		
(何のために実施する	ことにより、私有	与林の適正な経営	管理の確保を推進	する。	- リ森林所有者と意欲 リ森林の多面的機能		(どのような方法で	を実施する。 調査の結果、自		きない森林所有者	については、意名	次と能力のある森林	把握し、森林所有者への意向調査 林経営体に経営管理を委託する。 理を行う。			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	適正な経営管理だ	が行われていない	私有林及びその森	林所有者				成果 (どのような効果が 得られるのか)	森林の有する多面的機能を確保するとともに、森林資源の適正な管理が図られる。							
事業開始時の状況・これまでの経 令和元年度及び令和2年度に森林所有者に対して、森林の経営管理に対する意向調査アンケートを実施し、令和3年度から所有者不明森林の所有者調査を開始。また、令和3年度から森林環境譲与税を使用して森林の路線												森林の路網整備を実施。				

## [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施3カ年計画 第3次実施4カ年計画						画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額	3, 726, 000	3, 946, 000	3, 352, 000	11, 024, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	21, 345, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	28, 460, 000	60, 829, 000
さ			予算計上額	3, 650, 000	3, 716, 000		14, 478, 000	7, 115, 000			7, 115, 000					0	21, 593, 000
			実績額	3, 469, 956	4, 267, 484	6, 789, 727	14, 527, 167				0					0	14, 527, 167
れ	-	般 財源	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
た			実績額				0				0					0	0
事	事業	業費 合計		3, 726, 000	3, 946, 000	3, 352, 000	11, 024, 000		7, 115, 000	7, 115, 000	21, 345, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	7, 115, 000	28, 460, 000	60, 829, 000
			予算計上額	3, 650, 000	3, 716, 000	7, 112, 000	14, 478, 000	7, 115, 000	0	0	7, 115, 000	0	0	0	0	0	21, 593, 000
業			実績額	3, 469, 956	4, 267, 484	6, 789, 727	14, 527, 167	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14, 527, 167
費の推	事業	養予算の 内容		需用費 55千円 役務費 31千円 工事費 3,564千円	需用費 55千円 役務費 31千円 工事費 3,630千円	需用費 57千円 役務費 41千円 使用料 14千円 工事費 7,000千円		需用費 57千円 役務費 41千円 使用料 17千円 工事費 7,000千円									
移	(	□度予算と の比較 曽減理由)		工事費の増	工事費の増	工事費の増		ほぼ同額									
	実績(増	も き は は は は は は は は も は も は も は も も も り も り		工事費の減	工事費の増	工事費の減											

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:路網整備延長(m)	指標の求め方:当該年度の路網整備延長(m)
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:路網整備延長累計(m)	指標の求め方:路網整備延長累計(m)

											3 力年計画		I	석	5 2 万宝体 4 カケ	3次実施4力年計画						
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画				
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	総合計画合計				
		活動指標		画値	160	40			1, 000		1, 000											
	指	(単位/n			320	320	200															
	標	成果指標			160	200	1, 000	<b></b>	2, 000	3, 000	4, 000											
		(単位/n	, A1	績値	320	640	840															
			票をもとに評	呼価)				達成されている														
			票をもとに評	呼価)				上がっている														
			に対する成果	<b>!</b> )				上がっている														
		総合評価						良好である														
事				<b>采</b> 王	森林を適正に管理するために路 網整備等環境整	理するために路 網整備等環境整	自己分析: 森林を適かにに管 森林を適かの境 を を を の の の の の の の の の の の の の の の り の り	理するために路 網整備等環境整	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:					
7	評							<i>t</i> =.														
務	価中																					
<i>1795</i>	内容		(v) A == (== - ·	alest More																		
事	1	3	総合評価の判理由または打 の実績値に関	指標 関す																		
業		4	る自己分析																			
=-																						
評																						
価																						
		A 111 = 1						THE STATE OF THE S														
		今後の方向性現状のまま継続											D10 .									
	方向性の判断理由 改善、改革の内容				15: 路網整備等環境整 こ必要な事業であ	を備を実施するこ 5る。	とは、森林を適正	に管理するため	R8 :				R10 :									
(R5、R8、R10)																						